京城日報

十八日夕刊(朝夕刊を併せて八頁)

發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介　發行所 京城太平通一丁目 京城日報社

猶太人對セ隊長
抗爭益熾烈
總同盟休業=ホ長官の態度

ボリシエウイキ即ち猶太人とも言ひ得可き猶太人多數を占むる哈爾賓に於てボリシエウイキと鬪へるホルワツト長官、プレシコフ沿線司令官、セミヨノフ隊長等に對し

▽猶太人の反對 あるは勿論なるが發目の執行委員會長ウオリフオーウイチ狙擊事件、過激派的新聞ツールド記者拘引其他の事件は畢竟セミヨノフ一派の所業なりと彼等は目指し居り反感は益々高まり兩者の暗鬪漸次露骨となり來らんとせし際東淸沿線オツドカシ小學校長にして過激派的仲間の頭役たるウマンスキーが去る九日哈爾賓に於て市内を通行中將校及び兵卒の乘れる自動車に拉し去られ三日間行方不明なりし處兵營附近に於て慘殺され布に包まれて放棄しありしを發見し

▽彼等の激昂 一方ならず十六日中央寺院に於て葬儀を催すや會葬者數千人に達したるが折柄全職業同盟會其中心となり十七團體より代表者を出し會議の結果十六日午前零時より午後十一時五十分迄の總同盟休業を決行し當局者の無能を責むると共にウマンスキー追悼の意を表したり、去れば東淸鐵道警察、電燈、鐵道電信、電話は元より一切の從業員は勿論商店員に至る迄休業し市内の光景唯事ならずと見江たり、而して

▽茲に注意を要 するは過激派化せる鐵道其他の勞働者及び市民の大部分即ち猶太人とホルワツト、プレシコフ、セミヨノフ適切に言へば猶太人對セミヨノフの抗爭がホルワツト長官既に部下の東淸鐵道從業員を抑ふるの威力無く却て追悼を名として反抗的、態度に出で來りたる今日其將來の推移は最も注意するの要あり、ホルワツト長官若し斷乎として彼等の首魁を處分する丈の勇氣あらば兎も角然らずして其

▽獨特の事勿れ 主義を續けんか斯の如き紛爭は今後益激甚を加ふ可きを思はしむ(哈爾賓電報)

英國機雷敷設區域
北海全く封鎖=前代未聞の規模

五月十五日より實施されし英國の機械水雷敷設區域は敵潛航艇の英國近海に於ける活動を殆んど不可能ならしむるに至るべし新區域は廣さ二萬二千方哩に及ぶものにして前代未聞の大規模と云ふべく其線は蘇格蘭と諾威との海岸より發足す蘇格蘭よりの海岸への出口は最も嚴重なる巡邏を行ふべく商船軍省は新たに他の機械水雷敷設區域の設定に就き布告を發せるが之れに依りてペントランド灣口封鎖さる斯くて北海は今や全く封鎖されたりと云ふも不可なし(倫敦電報)

對獨宣戰十九箇國

十五日下院に於てバルフオア氏は質問に答へて曰く『一千九百十四年八月以來獨逸に宣戰を布告せる國十九箇國外交關係を絶てる國九箇を算す』と(倫敦電報)

伊艦敵艦を擊沈す

伊國軍艦は墺國ポラ港に進擊し墺國戰鬪艦一隻を擊沈せり(倫敦電報)

林公使歸任期

林公使は十八日北京歸著の豫定なり(北京特電)

馬山法院祝賀

馬山地方法院にては十八日司法機關創設十年記念祝賀會を催ほしたるが非常の盛會を極めたり(馬山特電)

外相訓示要領

地方長官會議に於ける後藤外相の訓示演說要領左の如し(東京電話)

現下露國内の秩序壞亂に伴ひ西伯利地方等より危險人物の本邦へ渡來する者尠からざれば益々警戒を嚴にし其の行動を監視すること極めて必要なり將又露國内に於ける敵國勢力の侵入と共に日米及び日支間を離間するを目的とする各般の浮說が露國方面より傳播せらるゝに至りたる顯著なる事實あれば此等流言に惑はざる樣指導せらるゝを要す本邦言論界に於ては動もすれば聯合與國の内政軍事を露骨に批評し甚しきは極めて挑發的なる非議を敢てするものなきに非ず帝國が聯合與國と同心協力以て今次戰爭の光輝ある捷利を期すべきの際に當り不信の言動たる國家のため直接間接に重大なる不利を釀すものなれば一層細心嚴重の注意を以て管下の言論機關を指導せられんことを切望す日支兩國識者間には昨今親善提携の眞義漸く徹底し從て兩國人の往來亦頻繁を加ふ此等來遊支那人士を迎ふべき地方官民に於て今後益々懇切以て論其他支那に對し善隣の誼を盡すことに特に留意し切實の措置あらんことを望む開戰後に於ける我貿易發展の顯る見るべきものあるは國家の慶事なりと雖も其の發展の急激なりしため粗製濫造の弊頻々續出せるに顧み爾來官民一致之が改善に協力しつゝあるも今尚其の弊を絶たざるは頗る遺憾とする所なり斯の如きは戰後激烈なる國際商戰に對應する所以に非ざるを以て地方官憲に於ては須く斯種弊害の絶滅を計り當に在外公使館等の報告の發表に留意し今日海外市場に占め得たる我商品の販路の維持及び之が擴張を企畫し我對外貿易發展上萬全の計を樹立せられんことを望む時局の變遷に伴ひ輸出入禁止制限其他戰時非常の措置を講ずる事頻々相次ぎ我通商交通上影響する所容易ならざるべし戰爭の目的を遂行する上に於て事情止むを得ざるに出でたるものなるを諒知し自ら之に處するの途を講ずるの覺悟あるを要す政府當局に於ても本邦商工業に重大なる影響あるものに對し出來得る限り除却せんことを期し聯合與國政府當局も事の緩急に應じ我の蒙るべき損害を少なからしめんことに勉めつゝあり諸君は當業者をして克く大戰に處する國の地位を了得せしめ愼重事に處して適宜指導せられ或は特殊商品に對する新販路の開拓或は事業の縮少に依る持久策等其他機宜の處置を執るに必要なる方法を攻究し躊躇に迷はしむるが如きことなき樣充分留意せられんことを希望す

鮮銀の增資問題
時局急變せざる限り當然來らん

鮮銀行にては昨年增資せし新株の第四回拂込みを六月四日より八日迄の五日間に徵收し二千萬圓となるを以て

▲全額拂込濟 となるを以て早くも同行增資說內地財界に傳へられ居るが右に付某方面より聞く所によれば鮮銀營業務の發展と對外放資の活動とは相俟つて今後資金を要する事夥しきにつき財界の兎に角膨脹せる今日その資本を更に增加しその組織を擴大し乃ち大資本大組織を以て今後の財界に善處せんとの立場より鮮銀の資本增加は當然來るべき問題なるべし唯問題は現資本金二千萬圓を三千萬圓とするか

▲四千萬圓に 倍增すべきか並に其增資實行時機を何日頃とすべきにあるべし右の中增資額を幾千になすかは當局の意向もあり又重役會議の結果に俟たざれば確たる事は判り兼ねるも增資の計畫は現在の未だ拂込みの終了せざる今日より已に臆測を許さゞるも消息通は現資本金を一躍倍增するに非ずやとの觀測あり又增資の時期は第四回拂込みが六月八日に終るもその後約五十日間を

▲猶豫期間に 經過せざる時は增資を得ざるに付早くも本年の秋期若くは來春なるべしとの說あり何れにしても時局が大體に於て現狀の維持を繼續する事を基礎とせしものにて若し歐洲戰局が將來何等かの動搖を來さば變化により講和談判の開始にでも實現し財界大變動を惹起するが如き時運に際會せば素より增資の延期は當然來るべき事ならん

楠瀨中將と段總理の會見

楠瀨幸彥中將は南支那視察中の處去る十一日入京日々要路の大官と會見しつゝありしが十四日午後四時公使館の西田通譯官と共に國務總理段祺瑞氏を府學胡同の私邸に訪ひ胸襟を開きて會談一時間半に及べり。寫眞は段氏邸の庭前に於て撮影せるもの右楠瀨中將左段國務總理

總督雄基行

十七日夜慶興に一泊したる長谷川總督は十八日午前七時雄基に向け出發せり

司法官典獄會議

六月三日より八日迄六日間總督府第二會議室に於て國分長官統裁の下に司法官並に典獄會議を開催すべく參集者左の如し

▲京城覆審法院檢事長中村竹藏▲平壤同松寺竹雄▲京城典獄三井久陽▲[illegible]同野村藤次郎▲公州同中村脩輔▲成興[illegible]分藤治郎▲平壤同石井縫吉▲海州同永井龍太郎▲諏訪準太郎▲釜山正義▲光州同則近代熊

稅關長會議

六月二十日より五日間午前九時より正午迄總督府第二會議室に於て本年度支部長會議を長官統裁の下に開催す可きが其日程左の如し但し協議事項は午後一時より同三時迄開催の筈

▲二十日總督訓示、諮問事項▲二十一日諮問事項▲二十二日協議事項▲二十三日諮問事項▲二十四日諮問事項、協議事項

司法機關
創設十年記念會

既報の如く本年は恰かも朝鮮に於ける司法機關創設十年に相當するを以て司法關係同志は十八日午後一時三十分より朝鮮ホテルに於て記念會を開催し官民多數を招待し盛會を極めたり

郵便所長手當

朝鮮郵便所長並に郵便所雇傭人等に對する臨時手當は判任官雇員傭人に對する手當等の振合により支給する事となりたりと

海員養成急務

朝鮮にては現下の時局のため船舶職員に缺乏を告げ之れが補充に困難を來すの傾向あるに就き此際相當の經驗を有し前途有望の海員を指導し海技免狀を受有せしむる事は最も緊急事なるに就き先づ船長等海員をして相當期間學術講習を施行し船舶職員試驗を受けしむるやう各海事出張所長に於て相當取計ふべく又土地の情況によりては遞信局より技術官を派遣し講習會の講師たらしむる事並に臨時海員試驗執行の義差支へなき旨海事課長より通知を發したりと

急行車休止
東淸線も

東淸鐵道にては五月十六日以降當分の間に於ける急行列車の運轉を休止する事となりし旨滿鐵に通知ありたるが之れ滿洲方面急行列車の連絡を休止せし結果なるべしと

或る有利の國庫債券
吉田營業局長談

今回政府で發行した短期五分利付國庫債券の朝鮮に於ける應募に就ては總督府當局では相當各方面に盡力してゐるが吉田鮮銀營業局長は曰く本公債の利率は年五分だが發行價格が九十五圓廿五錢なるため

▲額面償還の 差益四圓七十五錢を得べく結局利廻りは六分二厘四毛許りに當り近年既發公債の何れよりも利廻りは良い事にて其他の擔保に額面を以て充用する保證金を得るは勿論他の國債と同じく鮮銀でも外の銀行でも貸附割引の擔保として低利に且つ割好き融通を受くるの便宜もある、加ふるに本公債の內一千二百餘萬圓は朝鮮の事業公債となるのであつて期限も五年と云ふ短期額面も一般の應募を安からしむるため廿五圓五十圓と云ふ樣な小額なのも出來てゐるから一般の好放資物と稱して憚からない、鮮銀の本支店では二十日より二十二日までの

▲期限前 でも便宜一般の申込みを受け特に前述の外有利の取扱ひをなす事が出來るやうになつてゐる一般の應募を希望する次第である

貸出稍減少

朝鮮銀行本支店に於ける朝鮮內の貸出預金(四月末日)を開くに貸出しは三千百八十一萬四千圓にして前月末より三百五十萬圓を減じ四月の回收期に入れる事を示し居れるが然も歷來の如く其の減少率は前年に比し少なく貸出現在は物價騰貴其他の關係上前年同期の倍額を示せり又預金は合計二千百零七萬圓にして之れ亦百七十萬圓の減少を示せり

鮮銀副總裁
愈々近く發表

朝鮮銀行の副總裁は既報の如く大藏省理財局長官嘉納德三郎氏に內定し居れるがその發表の遲延せるは長官後任詮衡上の關係なるも最近人選終了の模樣に付愈々近く發表を見るべき旨某筋へ消息ありたり

平壤府債成立
朝鮮銀行引受

平壤府より朝鮮銀行に對し交涉中なりし同府第二期繼續土木事業中南門通りの改修に要する府債十一萬圓は最近協商成立十五日府尹本田常吉氏と鮮銀支店長津村甚之氏との間に契約書の交換を終れるが條件は利率年七朱にして大正七年度より十一年度迄に据置き大正八年度より十一年度の四箇年間に元利償還を行ふ事となり居れり

米軍事機關編制換
大統領一任法律案可決

米國代議院は政府軍事機關編制換への權能を大統領に一任するの法律案を可決せり元老院は既に之れを可決し居れば大統領裁可の上は直ちに發布され法律と成るべし右議決は反對二、政府の戰爭遂行を援助するに於て黨派の別なかりき(紐育特電)

獨墺經濟關係密接

獨墺新同盟の期間は二十箇年にして軍事協約も之れに伴ひ兩國の經濟上並に關稅上の關係は之れに依り最も密接となるべし(ツーリツヒ電報)

九州見物(十四)
舞濤生

熊本と清正(二)

淸正の信仰生活は徹底的なり、一本なり、彼の生活は實生活に於ても、內的生活に於ても、日蓮主義は彼の全部を支配したり、當時獨り一向、日蓮の二宗勃興したりと雖も、只勢力を得んが爲めにして眞正の信仰は頗る廢し世道人心の

□宗教の權威 地に墜ち、救濟の如きは殆んど念頭に無かりき、然しその現世的、活動的の宗旨は衆人の共鳴する處となり、之に奉ずる者多く、淸正の如きは其雄たる者にして、彼が操守、猛烈強勇、戰國的道德を重んじたるが如きは、戰國武士の好典型たりしと共に、日蓮主義の理想的人物とされたる處なりき

□淸正の政治 秀吉に對する君臣の情誼の如き、情誼最も深厚しかりし行長を商人出に救ひたるが如き、宿將中殊に勳功第一等なりしが如きは、彼を英雄として、評價する上に於て重要なる事項なりと雖も彼の

□治牛の策を 闡明しては未だ彼の全班を窺ふ事を得ざるなり、彼は前述の如く武將としては萬夫不當なりしと雖も專恣なる政治家としては善政主義、民本主義の人なりき、彼熊本城に在るや其居室を玄關の上に設け、常に仲間小者の笑談雜話に耳を傾け、彼等の僞はらざる忌憚なき批評を聽きて政治の遷善改惡に努めたりき、輿論にして眞の

□民の幸福と ならば躊躇なく之を採り民心不平あれば斷然之を去つて民の福祉を增進せんとし、其の民を治むるの用意周到なりしは當時の專恣橫暴民を眼中に置かざりし武將連とは雲泥の差ありき、殖產興業の如きも熱心に之を獎勵し彼の橫島に堤防を築き干潟地を利用して水田數百町歩を拓かんとしたる際の如き日々熊本より往復し半夜

□數里の間を 熊本を發し鷄鳴に必らず到着し工事を督して歸途熊本より一里餘ある一小坂に於て夕陽の西山に春くを眺めつゝ歸城したりと、故に後人此の坂を呼んで落日の坂と云ふ一事は萬事なり、總て此の熱心を以て非凡の精力主義を以て民の福利を進めしかば肥後の民皆敬服せり以て淸正を謳歌讃美し今に至るも肥後人は傳統的、迷信的に彼を崇拜しつゝ有り、斯くの如く彼れ淸正は將としては向ふ處敵なく、臣としては

□奉公の精神 熾烈なりき、然して、信仰生活を營み、戰國的道德の忠實なる遵奉者たり、政治家としては民本主義者なり、武骨一片の人に非ずして、心の底には熱血に燃ゆたる人なり、彼は實に英雄として過せらる可き資格を多分に有したり、然して眞の英雄と謂ふる熊本人は、果して眞の淸正を理解しつゝ有りや否や、副島一間の英雄を見ば餘りに淸正を偶像視するものなり

獻栗耕地地鎭祭

本年の新嘗祭獻栗は咸北道に於て耕作方を命ぜられたるが道に於ては其耕作地を鏡城郡梧村面勝岩洞鄭斗賢に命じ本月十日同面城北洞に選定せる耕地に於て本府より來れる渡邊囑託主となり道廳員郡廳員等列席の上嚴かなる地鎭祭を擧行(淸津)

今泉檢查官來期

今泉檢查官一行三名は十七日東京出發十九日夜南大門驛着列車にて入京の旨其筋に通知ありたり

藤原正文氏入京

支那交通銀行顧問藤原正文氏は東上の途十七日夜入京十八日朝鮮銀行其他を訪問せり

新司法十年(一)
辯護士 中村時章氏談

○自分は明治四十一年韓國統監府司法官として當京城地方裁判所判事に任命せられ翌四十二年裁判所廢あるに於て野に下りて爾來今日迄當地に於いて辯護士業を執り居るが十年一昔しとさへ云つて殊に四十一年其當時の韓國司法の事を追想すると全く今昔の感に堪へぬ殊に自分は他の判官諸君と違ひ其以前八九年間も內地で在野辯護士の業に居りたれば判事となりて當時の韓國の訴訟界に對する感想は異なりたる點が尠からぬと思ふ今日に於て追想して面白いと考へらるゝ二三の點を述べて見るに

○當時自分等が法廷に於いて訴訟當事者が主張すること證據立を爲すこと辯論を爲すと一として奇異ならざるなく勿論鮮人の容貌が皆同樣に見ゑて甲乙の差別さへ辨じ兼ぬる時なれば訴訟上の事とても漸く通譯を介し又文書に因りて眞相を窺はんとする丈で直覺的に事理を判斷するなどは至難の業であり時には原被相方より同樣の官印公印ある證據の文書さへ訴に表はして何れが眞實なるやら分らぬ事も多かつた如此場合には筆でも立てゝ其黑白を判斷せねば分らぬ樣の事が無いではなかつた

○而して其當時辯護士として訴に立たれるものは鮮人の方の內地の法學校を卒業された人の三四郎ち內地の訴訟法を辨へ居らるゝ人は防訴抗辯即ち管轄違ひとか法人として出訴する資格がないとか其他一寸在來の韓國訴訟界では夢にも思はなかつた抗辯が出で何萬圓とか云ふ事件が一回で勝訴となる樣の事もあつた勿論判事としては可成は事件の眞相に觸れて曲直は斷じたいが法規上許容られざる訴は已むを得ぬ事で而して內地で辯護士を永くして而して判事として上より之を目擊する時は頗る面白くもあり可笑くもあつたのである

人事消息

▲島田忠良氏(遞信課長) 內地出張中の處十六日夜歸任
▲井上鮮銀營業課長 內地旅行中のところ十七日夜歸京
▲大垣京通社長 南鮮地方視察の中のところ十八日朝歸京

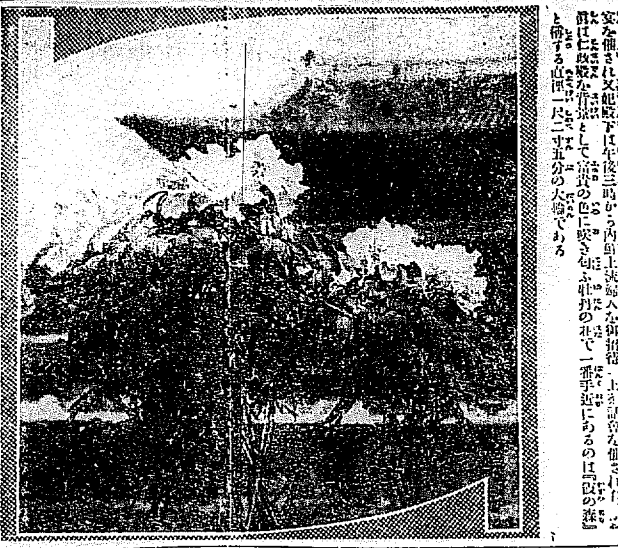
酒前茶後

◆米國露の羊を手馴さんとせば後より獨の狼來つて羊を喰去るとす
◆饑たる獨狼の貪食は怪に足らず、其國の運命も因果應報と斷念せよ
◆氣脈好橫濱に來と傳者あり落人の悲慘に同情するも露の今日如何
◆彼に勇なきか時利あらざるか人は意氣成功名後議論捲土重來と云ふ
◆彈代野夫連戰一蹴西伯利亞掩の枕あり彼の常勝は彼の意氣に存す
◆歐洲戰場の新武器の威力は屢世界を驚かす物ありて其進歩恐る可
◆斯既に古く自動砲車も珍ならず獨の長距離射擊砲が新き聞
◆然に米國は五百哩に達する砲彈を發明し威力猛烈なるを見よ
◆初松魚を口にせず杜鵑の聲を聞かざるは新綠時に可愛運動の好季
◆山嶽は自然の殿堂にして偉大なる響示を與ふ山に對しては賢愚無差
◆見よ七度變る色彩の變化美岩根に咲く小百合の愛らしさ茲に至り無
◆山に登れ崇高なる精神と剛健の身體と多の智識を慾望する者よ

表

十一月一日現行

◆仁政殿の牡丹=仁政殿前の牡丹は昨今が恰度滿開なので李王殿下は既報の如く十八日午後四時三十分から李公殿下、山縣政務總監以下を御招待牡丹の宴を催され又妃殿下は午後三時から內鮮上流婦人を御招待、上流婦人を御招待された、寫眞は仁政殿を背景として富貴の色に咲き匂ふ牡丹の花で一番手近にあるのは『釵の森』と稱する高さ一尺二寸五分の大輪である



法曹界十年の回顧(下)

司法權確立前と今=辯護士より見て

辯護士會長 大久保雅彦氏談

新制度實施當初の頃は民事々件中朝鮮人間で墳墓(山坂といふ)に關する紛爭事件が最も多かつた、是は要するに昔の制度では個人の所有權を認めず

◆一家一門の共有 見たやうなものであつた關係上、勢力ある者は墳墓の方位を卜相した結果は他人の所有地でも何でも選ぶ所なく埋葬したるもので或は夜陰密かに他家の所有地に屍體を運び込む等のこともあり爲めに權利を侵害さるゝことがあつても長い間陰忍屈伏してゐたのだが、夫れがいよ〳〵新裁判制度の實施になると

◆一時に急潮の如 うな勢ひで墳地の爭ひが多くなつてそれが暫く續いたものだ、近來は離婚、相續といふやうな人事に關する訴訟事件が墳墓事件に代つて多くなつた、是れは長い間の因襲に囚はれてゐた家族制度が破壞された現象と見るべく、一體朝鮮の家族制度は親子兄弟姉妹は勿論一門悉く團結してゐたので數百人數千人の一家一門の中にその長たるべきものがあつた一門同族の名譽を重んじ面目を維持する爲めには種々な手段に出でたものであつた中に近親間に於ける係爭は私刑を以て制裁を加へて解決した程であつたが、漸次

◆新しき文化に浴 して覺醒し初めた昨今は自己といふものを認めて個人主義を唱道するやうになつたので、勢ひ訴訟事件の如きも此の色彩を帶ぶるやうになり昔は婦女の如きも一度婚嫁したものが再緣することを社會制裁上忌避し婦女も淚を飮んで隱忍してゐたが、今日はその反動が來て殊に婦女が原告となつての離婚事件が多くなつたこれは特に識者の注目すべき現象であると思ふ、刑事々件は以前は集團的の犯罪が多かつたが今日では憲兵警察力の普及と共に夫れ等は漸減して來たが反對に文書僞造、詐欺といふやうな智能犯が殖えて來た

▼辯護士と司法官 との關係に於ける辯護士の社會的權威といふものを見るに內地は自治制となつてゐるから比較的自由が與へられてゐるが、殖民地たる朝鮮では未だ其の途が開けてゐないから、政治上或は重なる社會問題等に對して充分なる意見の開陳や活動が出來ないから、今日では辯護士が刑事以外の事件に盡力を發揮すべき機會が無い、夫れから辯護士と司法官との關係としては朝鮮では內地のやうに甚しい官と民と辯護士との間に疏隔的の接觸は無いけれど其の間に別に障壁もなく快よく意思が疏通してゐる、そして辯護士と裁判官とが接觸する機會を見て何等か其の間に訴訟關係上情實でも結ばれるかのやうに一部の社會では誤解してゐることを認める、これは頗る嗤ふべきことである

三萬圓の水指

=破られた一條 益田氏の風流

四月下旬品川益田孝氏の邸に茶會あり客は住友の鈴木馬左也、石原健三、大口鯛二、益田英作、戶田彌七氏にて席上石原氏は誤つて益田氏の名品丞中作の水指の蓋を破りたるが其後石原氏よりはその償ひの爲には何なりと要請に應ずべしと言ひ出で益田氏は風流の損は風流にて償はるべしとなし先年某家の入札に石原氏に占められて遺憾止みがたかりし松花堂長恨歌の卷物を要求せしより石原氏は直に此れを贈りて事落著せり因に丞中の水指は陶器製にて時價實に三萬圓なりと痛い事なり(大阪特電)

換氣に就て新らしい施設

—防寒建築一等當選案の設計

牀上の換氣孔に暖氣を下降させ室の下層を暖め塵芥と共に排泄

ペーチカを採用=溫突は不經濟で衞生に惡い

當選者 大連 高岩靜氏談

本社の懸賞募集の防寒施設建築案一等當選者高岩靜氏を加茂川町の居に訪問す高岩氏は築地工手學校出身にして長く龍野博士の事務所に在り各方面の建築設計に當りたるが特に別莊として東洋第一の稱ある住友家の須磨の別莊は實に高岩氏の考案に成りたるものなるが氏は本社懸賞の防寒施設建築案募集に就きて語りて曰く

◘『防寒施設 の建築に就ては自分は嚴に考案したる事あり又完全なる理想的防寒施設の考案あれど建築は豫算の範圍に於て竣工せざるべからざるを以て今回の答案も勿論之れが第一要件と成つて居る始め朝鮮地方の住宅としては建築材料等の都合上煉瓦建よりも木造の方が適當なるべしと考へたるも

◇防寒の第一要件たる外壁を厚くするには木造にては腐朽するを以て耐久の必要より煉瓦を用ゆる事と成したり朝鮮地方に在りては各戶大抵溫突室の設置あるを以て一室の溫突を設けんかと思ひたるも溫突は火災の恐れ多きと衞生上も餘り感心せざる點あり且つ溫突は一室だけは溫暖なるも他の部室に溫氣及ばず全體の上より見て不經濟なるを以て

◘ペーチカを 裝置する事となしたりペーチカなれば燃料も少量にて四室の溫度を保つ事を得甚だ經濟なり更に換氣法に就きては此の家屋は全く新らしき方法を用ひたり從來室內の換氣孔は大抵上部に設けられ居るを以て暖められたる空氣は常に此の氣孔に向ひて上昇し暖氣は天井裏に廚を爲し實際に暖氣を必要とする室內の下層は冷却し居るが常なるを以て

◇換氣孔を床上より一尺五寸乃至二尺位の處に設け一度上昇せる暖氣は下降して室內の下層部を充分暖めたる後盤の上の塵芥と共に氣孔より壁內を通過し、換氣する事となせり此の裝置はホットエーヤにて室內を暖むる大連ヤマトホテル大食堂及び待合室に裝置しあるのみにて住宅としては曾て試みられざるものなり此の外從來日本建の多くは客室及び次の間等を東南に面したる日當りよき

◘最好の位置 に設くるを常とすれど自分は客室は北方に設くる事とせり何故なれば來客は短時間なるを以て日光に直射せられざるべからずと云ふ必要もなければなり之れに反し家族の居室が常に陰濕なる北向きの處に設けらるゝが如きは家庭上の不幸極めて大なりと云ふべきであるを以て此の設計案には

◇客間を北方に取り居間を南方に取りたり猶老人等の居室食堂等も南面し前庭の栽込等に出り目を樂しましむる事を考案せり此の設計に於ては書齋は無きも書齋の如きは北に面して設くべきものにして南方の光線の烈しくイラ〳〵したるよりも平靜なる北方より入る光線を受くる方眼の衞生上及び

◘讀書思索等 の爲め心の統一上極めて有効なりと信ず此の募の部室は之れ等の考案を斟酌設計せり床下はセメントにて完全なるタヽキと爲し濕氣を防止するに越したる事なきも豫算の關係上石灰と粘土とを以て漆喰とせり之れにて充分タヽキの用を爲すものと信ず

◘床下を深く する事も此の設計案の一特色なりと信じ居れり兎に角多忙中ながら自分の好む處の事故設計を試みたるものにて經費の關係上更に充分なる理想的防寒施設を爲し得べしと雖も先づ應募案の家屋なれば住心地よき事と信じ居れり』

因みに同氏は明治三十八年渡滿軍政署技師として露治時代の半成なりし旅順監獄を完成し更に大連民政署及大連日本橋の設計建築に當り當時の旅順監獄を範として現今の旅順監獄を建築し滿鐵會社に入社し以來滿十箇年に亘り各大小建築の設計に悉く與かり殊に今年滿鐵の請負ひたる大連保健浴場の設計建築は總て同氏の擔當する處にして工費十二萬圓を以て一大溫水及水浴場を建築する事となり近日中に氏の手に由り設計圖全部竣了の筈なりと

一等當選者 高岩靜氏

◉露人鮮銀に入る 露西亞の吉林領事館にゐたシトロ、ミルコフ氏は十六日附朝鮮銀行の囑託として調査局第二課詰を命ぜられたるが鮮銀に白人の入つたのは氏を以て嚆矢とする尙ほ氏は露語は勿論の支那語英語に日本語にも通じ夫人は邦人である

新兵縊死

=附脫營

龍山步兵第七十九聯隊第七中隊二等卒山崎次郞(二三)は十二日午後十時頃制服の儘脫營逃亡せり爾來行方を搜索中十七日京城南山絕頂の松の樹に其の儘縊死し居るを發見せしも原因不明なるも所持の遺書によれば申譯なきことを爲したる故自殺する詳細は二人の友人に聞かれば判明するとあり一說には吳るれば同人は先頃物品檢查の際軍用器具を紛失し居るを發見されしより之れを苦慮して自殺せしものならんと

▲又十七日午後十時頃同聯隊八中隊二等卒荒木末松(二三)も脫營逃亡せり

◉獵友會射擊會 十九日午後一時より 獎忠壇射擊場に於て

朝鮮獵友會にては來る十九日午後一時より獎忠壇內同會射擊場に於いてクレー射擊會開催する由なるが今回は本年度に於る最初の會合にて同會員以外の新入者の來會をも歡迎する由

大掃除 =十九日=

京城本町警察署管內各町內は來る十九日大掃除を施行すべし

本町四丁目、櫻井町一二丁目、大和町一二三丁目

◉高女の記念日 來る廿三日は京城高等女學校創立十周年記念日に相當するより同校に於ては當日午前十時より多數來賓の參列を得て記念式を擧行し引續き興味ある學藝會を開催する筈

東亞煙草の職工慰安會

東亞煙草會社では玆數年來事業の發展著しく製造能率も自然最大限度を出さねばならなかつたので其間職工の勞力も多大なるものがあつた十八日は黃金町に於て其の慰勞會があり席上十年勤續者及び模範職工に對する表彰式を擧行した、定刻十時となれば二千五百の職工は雪崩を打つて會場內に流れ込み、人息き蒸し返すが如き盛況裡に開會し新所長吉田長治氏の訓辭あつて

◆十箇年勤續者三十名模範職工百五十名に對し夫々賞品を授與し終つて活動寫眞奇術等あり散會したるは午後四時であつた

◘お伽紀行 淚光生

一點の雲もなく晴れた日に、お伽日和であつた十七日の午前九時五十分發南大門驛に驅け着けた、車中四方の眺めは青く濃い綠のしたゝる美はしい景色に、そしてさながら仁川の少年少女達に引つけられるやうに汽車は走つた

◆仁川に著けば中島小學校長、本社支局員等の出迎を受けて午前の會場たる小學校に向ふ、な一服する間もなく直に三年以下の九百名がお猿さんのやうにお行儀よくキチンと列んで居る前の演壇の人となつた

◆小さい口から洩れて出る笑聲が九百も合して堂をゆるがす、除け笑つた皆さんは敎室へ歸つてから思ひ出しては笑つてゐた、並に分間休憩直に第二回の尋常四年以上高等科迄の兒童七百名に動物愛護と軍事お伽の『召集令』が話した前の動物愛護ですつくりお〳〵その宿がへなするほど笑つた男子も女子もシツクリ澄ちやんと光さやんの孝行振りに泣いて仕拂つたこゝで午前の會は終りをつげた千六百の少年少女の可愛い瞳に送られて東洋軒で晝食をしたゝめた

◆午後一時高等女學校にゆく數年前本社が寄贈したと云ふ樹の數十が葉の色彩を特にはなつと校長の言、講堂に入ると將來の妻たり母たる人達がお行儀に椅子に凭つて開會を待ち作ていられる、後の方には同窓會の人達の顏が大分正面に見えて居つた校長の挨拶に續き本町村特業局長の御挨拶はお饒舌が非常に好かつた

◆商埠が少し狹くて會場だつたのと昨夜からの咽喉の樣子が變なのと午前は休みなしの三席でかなりに疲れてゐたので聲がとんと不調に出て來ない、初めから終りまで不滿足な話であつた、しかし一時間餘の長い間皆さんはよく聞いて下すつた

◆彼れ果て大身體な支局の二階で休むこと一時間餘五時半發の列車で、私と少年少女達は仁川を去つて歸京した、この日種々と御配慮下すつたフ々に深謝して筆を擱く

寺社と敎會

○南山本願寺(南山町) 十八日午後から土曜講話の例會あり『利他興廣』波來谷開敎使現はれ引續き信仰自野開敎員

○京城基督敎會(南米倉町) 十九日午前九時十五分日曜學校少年少女部宮川牧師外敎師九人擔當午前十時半禮拜說敎『昇天の默示』平田敎師午後八時傳道說敎十五分間讃美歌敎授二十分聖書講演『十字架により示されたる人生の意義』山本牧師

○日曜說敎(旭町二丁目メソヂスト敎會)十九日午前十時中村牧師『新たに生れし人』午後八時中村牧師

○日曜敎會(長谷川町日本基督敎會)十九日日曜日午前九時日曜學校十九日午前十一時禮拜說敎『演題未定』大島正健氏同日午後八時傳道說敎『演題未定』篠淳武夫氏

○救世軍の集會 五月十八日(土曜)午後八時半百三十銀行前に於て『何故に信ずるか』石島大尉十九日(日曜)午後九時永樂町屋內にて『確信』『力』石島大尉

◉保育園部へ寄附 朝鮮總督府內サルタレル財團は市內三坂通獨立保育院京城支部の事業を賛して金二百廿圓を寄附せらる

灯ともし頃

中央試驗所長の永樂博士曰く『君等は先般是非五年振りで郷里へ歸省したが、『郷』の威光は吟時見ても好いれ裂の山、鮮靑の一單調な朝鮮の山河を見慣れた目には之れ丈で非常な爽快を覺ゆる關門の威光は我郷土の誇りだよ』と、博士の郷里は乃木將軍を生んだ長府である▲京城測候所の長の話しに依ると近來の測候所では氣象上の特殊現象を研究することに努めて居る相だ之は少々古い話しだが先年甲斐國落合の測候所で此特殊現象を研究する爲め密中晴晴に水を張つておいたところ忽ち其表面に長さ六寸六分の氷柱が立つた事がある▲京城測候所でも之に倣つて毎年研究して居るが昨年の十二月十一日に至つて始めて長さ六分六厘の氷柱を見たと云ふ今年は去年の話しでもないがソロ〳〵暑くなつて來たので思ひ出した儘を一筆—

讀者文藝 課題及募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等[illegible]

商況

東京期米特電

十八日前場 一番 二十五圓二十九錢 二番 二十五圓二十四錢 三番 [illegible]

兵庫期米

十八日前場 當限 二十五圓三十五錢 先限 二十五圓三十九錢

大阪株式特電

銘柄	前引	後場	前週
大阪米	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大日本紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋精糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京米穀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

十八日前場 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 [illegible]

大阪期米特電

十八日前場 [illegible]

下關期米特電

十八日前場 中限 [illegible] 先限 [illegible]

雜報

十八日前場 高付 安値 寄付 止め [illegible]

◉內地製粉混沌 東京粉界後の市況は竹印七八限にて約三萬袋十四日は竹印五六限五圓二十八錢にて約五萬九千袋の出來高を示し[illegible]

◉綿絲布は好勢 大阪三品今前場の成行きは米棉入の入報に當三百二十八圓九十五錢にて現物は[illegible]

圓九十錢

◉期又た低落す 大阪の反撥に附値せず[illegible]

十一錢安値と二十一圓七十錢と下廻り前日の入氣忽ち動[illegible]

◉正米ヂリ弱り 干渉恐に高値は政府の面押目買を繰返し賣り一戾り

氣配は僅十錢安 賣勢は相場以上の安氣配

◉雜穀一齊軟弱 概して安模樣

◉支那粟は漸落 產地先物安

◉白米も下押す 落又々二十錢方下

下關相場

二等二十五圓四十錢 十錢方引弛み

南大門の廻穀

[illegible]

仁川正米

[illegible]

釜山穀物(十七日)

[illegible]

生魚市場

▲京城日の丸市場 [illegible]

▲釜山水產市場(十七日) [illegible]

仁川期米

十八日前場 大阪天候晴天(再轉瓦落)

前寄二十五圓二十錢 十六錢と昨止より五錢安

俄然大阪暴落入電に賣物

八錢と新安値に瓦落したが買物漸く多く七十一錢と返し大激戰裡に不秒の成行を示して散會

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

市場雜觀

[illegible]

仁川米豆取引所

十八日の七月限 [illegible] 十七日後場 [illegible]

白米標準値

二十六圓五十錢

仁川米豆取引所仲買人 園 仲買

七千二百石の附け

[illegible]

大阪正米 十八日後場 十と二錢安に寄付たるも大阪前寄八十一錢の入電に五十五錢と暴落し八錢三節大阪止め九十二錢の高

仁川米豆取引所 平均値 [illegible]

天氣 曇一時晴 (十八日午後六時より十九日午後六時迄) 五月十九日

京日紙上お伽講演

昌慶苑のお獅子

龍山　涙光

春が來た　春が來た　何處に來た
野に來た　山に來た　里に來た

寒い大陸風が何處かへ逃げて行つて若草が萌え出すと昌慶苑の櫻が微笑みを見せて温かいお池に鶴が羽を洗ふ頃となりました、南山や仁寺洞の幼稚園の坊ちやん孃ちやん達がよく遊びに來て呉れますので檻の中で淋しく暮して居たライオン達は大喜びお母さんのライオンが止めるのもきかないで兄さんの西さんも姉さんのピリさんも弟の茶目君も何時の間にか孃ちやん達のお唱歌を覺えてしまつて檻の中を『春が來た、春が來た』とライオンダンスをやつて暴れ廻ります

そしてお腹がウンとすいて來るとお夕飯の牛肉を頂く時が『まだかいなあ〜〜』と待ちかねて居る内に守衞の小父さんが四人分のお夕飯牛肉二貫目を『ウントコサ』と持つて來ると『ウーウオー』と我れ先きに五百匁の肉をベロリ『そして私のは少なかつたから』『いねいけないの私のを取つては』と兄弟喧嘩が初まります、お母さんは自分の食べるのまで分けてやつて兄弟を可愛がつて呉れます、お食事が濟むとお母さんはいつもの通り以前京都の動物園にゐた時の事やお父さんと朝鮮に來る旅行中の出來事やなど話して聞かせ最後に去年十一月にお父さんが内地に出稼に行つて間もなく亡くなつた事を話しては涙をホロリと零します、斯うした間に櫻の花は咲きました昌慶苑觀覽のお客さんが毎日それは〜〜澤山なものでありました、兄さんや姉さんはさまで思ひませんけれ共、弟の茶目君は『僕もあんなに外へ出て遊んで歩きたいなあ』と思ひました、そしてお母さん兄さん達が『そんな我儘をいつてはいけない、私達は毎日牛肉の甘味いのを澤山頂いてその上一週間に二度位はきつと生きた兎の御馳走までして頂くのだからこんな嬉しい事はないではないか』と申します、けれ共茶目君なか〜〜聞き入れません、朝起きるとから夜寢るまで、寢てから夢の寢言にまで『私も外に出て遊びたいね、お母さんなんど京都から此處まで旅行して居るのに、私も旅行がしたいね』と云つて居ります、母ちやんは茶目君が眠れないのかナと思つて『茶目ちやん、茶目ちやん、どうしたの？』と聲をかけますと茶目君大きな鼾をかいて『ムニャ〜〜』ところが茶目君のこの寢言を神樣が聞いて可愛相に思つて下さつたか、願がかなつて茶目君は東京の上野の動物園にお養子に行く事になりました、いよ〜〜上野動物園の黒川の小父さんが來て、昌慶苑の動物園の下郡山の小父さんと萬事の話をきめて、最う櫻もすつかり咲いた四月の十六日四年間住みなれたこの昌慶苑や、よく遊びにきて呉れた幼稚園の坊ちやんや孃ちやんを殘して東京へと旅立ちする事になりました、お母さんが『茶目、隨分身體を大切にしてね、東京へ行つても餘り惡をして坊ちやんや孃ちやんに嫌はれないやうにね…………』と泣きますと、兄さんも姉さんも『お大切に……』と泣いて別れを惜しんでゐるのに茶目君一人は大喜びで笑ひながら出發しました、南大門の驛から汽車に乘せられた茶目君野を見ても山を見ても只獨りで話相手はなしだん〜〜淋しくなつて來るものですから、たまらなくなり大きな聲で『ウオーウオー』と泣き出します、黒川の小父さんが牛肉をやつて慰めても食べもしないで遂には汽車の中で茶目君獨特の大暴れで小父さんや鐵道の人達を困らせられました、そして釜山からは致方なしに大阪商船の宮島丸に特に乘せられて廿七日やつと神戸に上陸しましたが茶目君の思つたやうに旅は嬉しいものでない事を知り、泣いて送つて呉れたお母さんや兄さん達に濟まないと思ひました、東京に著いたのが卅日一週間ばかり疲れを休めて、今では東京の坊ちやん孃ちやんと仲よくお相手をして遊んで居ります、二三日經つと京城のお母さんから手紙が參りました

無事で暮して居りますか、坊ちやん達の一年一度のお祝ひの五月五日の端午の節句の當日に姉さんはお産をして猫のやうな赤ちやんを二人生みました

と書いてあつたので、茶目君すつかり伯父さん氣取りで大人しくなりましたトサ

戰塵一束

◆破竹の勢を以て◆

進撃せるセミヨノフ軍は後貝加爾鐵道と黒龍鐵道との分岐點カルイムスカヤ驛を占領したる筈なり

之に就きハバロフスクよりの報として條約の報ずる處に依ればセミヨノフの部隊はブラゴエチエンスクより過激派の新勢力救援の爲めカルイムスカヤを退却したりと竝し右の報道は全然信ずべからざるものにて今やセミヨノフ軍が日と共に勢ひを加ふるに反し過激派軍はこの頼みとする俘虜軍との間に不和を生ぜしのみならず士氣頓に沮喪し今やチタを捨て漸次奥地に遁走しつゝあるの状態にあるを以てセ軍幹部の明言に依るもチタ占領は目睫の間に迫れりと云ふ

而して豫定通りセ軍にして鐵道分岐點を占領せんか、茲に沿黒龍州の過激派は退路を絶たれ嚢中の鼠となるべくセ軍は滿洲里同地間三百五十三露里乃ち約六十里を手中に納めたる譯にして之より四時間行程に過ぎざるチタ迄現今の勢を以て進まんか茲に後貝加爾州は殆んど過激派の勢力を驅逐することゝなるべくセ軍今後の活躍は一層の興味を以て見るに足るべし而して

過激派と俘虜とが不和を生ぜし

理由は過般ボルジヤの戰鬪に於て廿名の墺太利俘虜軍が自動車にて側面よりセ軍を逆襲し其の退却の途中狼狽の極自他を辨へざる過激派軍の爲め砲撃せられ十五名の死傷者を出したるに憤慨し斯の如き怪しからぬ軍隊に從軍し能はずとて身内喧嘩を始め分離するに至りたるなりといふ

◆俘虜側の寢返り◆

西伯利亞俘虜の對過激派の態度に就き茲に最も注意を要するは彼等の内の一部分子が漸次獨逸本國の過激派に對する敵對行動に鑑み漸次此の方針に基き反過激派援助に寢返りを打つに至ることなきや否やにあり

獨逸が芬蘭に將たウクライナに於ける過激派を排し白衛軍を助けボリシエヴイキを排除し來れる最近の實例は獨逸がボリシエヴイキを利用して露國を攪亂し盡し思ふ存分互利を占めたる過激派思想は元より獨逸の帝國主義と氷炭相容れざるもの既に甘き汁を吸ひたる以上芬蘭に將た小露西亞に自國の思想と極端なる過激派を排し反過激派を助け獨逸の保護下に獨立國を樹立せしめんとする方略なると一點爭ふべからず

故れ北部西伯利亞の過激派に對しては陰に陽に之を助け來りしも本國に對する方針の變更に伴ひ俘虜分子を援けボリシエヴイキを排斥せんとするは有り得べきことなきを以て西伯利の住民が今や過激派の餘りの暴虐に耐へ兼ね寧ろ秩序恢復を念願し居る者の食を遊ばざる類を以て獨逸の援助を得たきものとして之に倚るべきは西伯利民現状が日米英佛或は獨逸の何れにしても、要するに此の無政府の際猶し其る者なれば寧ろ味方と問ふ處にあらずこの熾烈なる共通感情に鑑みるも明かなる處なり

故に若し獨逸が芬蘭若くはウクライナの例に依り其の勢力下に西伯利政府を樹立せしむることあらんか其の上に被るべく而して現在西伯利日本は直接獨逸勢力の脅威を國防の俘虜は實際に於て過激派化せる者と然らざるものと相半ばせりと雖も倚ほ能く之を爲し能ふべき也

◆三戰線組織さる◆

ハバロフスクよりの報にカルイムスカヤに於けるセミヨノフ將軍はセミヨノフの叔父に當る人なりとの説あり其の部隊はブラゴエチエンスクより强大なる過激派軍新に接近し來りたる爲め同地を退却したるがカルイムスカヤに於けるセミヨノフ將軍の麾下により三戰線組織されたる譯にして同將軍は後貝加爾全部

◆チタ鐵道の不通◆

阿穹を以て兵員を增補せりアレクセーフ鐵道附近に於て赤色軍は敗北し死傷者を出したり

本國に赴く可く哈爾賓を發したる鐵道廳員のハバロフスクよりの報によるにカルイムスカヤに於ける軍事行動の爲めチタ間の鐵道は遂に不通となるに至れりといふ

◆米鐵道隊と戰線◆

東支鐵道米國鐵道隊は破壞せられたる鐵道修繕の爲めセミヨノフ軍に從軍し戰線に向ひたり（哈爾賓）

◎資料が來ねば　暦が出來無くなる

◆外國の天文測定に依て漸やく日本で暦が出來てゐる◆

觀測所長　平田德太郎氏談

科學の進歩が潮の樣に世界の隅々に迄押し寄せると泰西人から東海の一島嶼と思はれてゐた我が日本が何時の間にか先進國となり今では何一つ日本で出來ないものは無い樣に色々の文物が輝き出して來た、殊に世界の戰亂に影響を受けて到る處の好景氣に世は黄金の夢に醉ひて爲す事能はざるなしと工業の進歩科學の發達を誇顏であるが

飜つて裏面を窺ふと

完全に日本で出來るものがない

軍艦は日本で建造すると云つても其の主要の大切な部分は之を外國に仰がねばならぬと云ふ始末では誠に心細い何時になつたら日本は外國の力を借らずに事業を完全に遂行する事が出來得るか今は日本に金は有る然し金はあつても出來ない仕事が今に幾らも横はつて居る第一我々の仕事から云つても

地上觀測や天文の

測定許りでは遂行されぬ

上層氣象即ち空間の觀測をもしなければならぬ事になつた之は飛行機等の爲めには殊に必要で數年前から認められてゐるので外國では段々此の觀測を實行してゐる處もあるが日本には未だソレが出來ない之は結局は其の機械が無いからである普通の人には了解出來ないだらうが今日一日でも缺ぐべからざる暦の如き彼れは決して日本で出來るものでない世間では暦は何ものであると云ひ朝鮮などでは百十年を經過すれば必ず循環するものであると云ひ朝鮮などでは百年も千年も先の暦が出來てゐると云ふが眞實の暦は其麼ものでない今日内地では中央氣象臺で編纂し朝鮮では觀測所でも作つて居るが其の材料の悉くが米國其他外國の天文觀測に依つたもので

日本では僅かに

其の材料に基いて按配するに過ぎぬ

若し此の材料が外國から來ないと假定したら日本には暦が出來なくなる我々に取つては暦が一日違つて三十日が三十一日になつても大した差支へはなく十二時が一時にならうと何等の痛痒も感じないが時と日の一日でも違つたら一歩も動けない航海者に取つては實に大なる問題であらねばならぬ暦が無くては太洋の眞中に船は立往生をしなければならぬ事となる之等も既に十年前から判り切つた問題で研究の議題にも上つた事であるが金と人との問題で容易に出來得る事でないとせられてゐた處が今では成金の連中は幾らでも金は出すと云ふのだが扨て金は出しても人が無いと云ふ始末である

◎大雨と農家

半島附近の畑作物は稗、小麥、粟、蔬菜、甜菜、棉花類中發芽以來降雨少なかりしため一般に降雨を望み又た水田苗代も用水なきため播種又は植付をなすことを得ざりしが十五日夜來の大雨にて農民は何れも愁眉を開けりといふ（平壤）

◎不景氣知らず

◆迎日地方は豐漁にて◆

昨年十二月より本年三月に渉り慶北迎日灣に於て漁獲せる鯨は約七十萬圓の巨額に達し右は定置鯨網百七十一同刺網二百九十を以て漁獲せるものにして同期間に於ける一張の最高漁獲高は二萬三千圓にして最も尠きものにても一千圓を降らず平均四千二百圓内外の漁獲を爲し昨年同期に於ける總漁獲高は五十九萬圓にして本年より遙に尠かりしも右は數量に於ては本年と大差なかりしも本年は昨年に比し相場著しく昂騰せる爲めなる由本年に於ける鯨の相場は一同（二千尾）最低四十二圓より最高七十二圓にて昨年の相場は最高五十圓最低二十五圓なりしといふ而して同地方漁民は本年豐漁の好影響を受け何れも不景氣知らずのホク〜〜ものにて尚ほ先般來慶南蔚山神邊りに群集しゐたる春鯖は漸次北進し目下同灣附近が其の中心點にして總網市著網等何れも毎日六、七千尾の漁獲あり流網にありても尚ほ三千尾より四千五、六百尾の漁獲ありと（大邱）

史劇俠勇　藤太秀郷
ミラの秘密　第三回公開

京日讀者優待割引券

割引入場料　一等卅錢　二等廿錢　三等十錢
普通入場料　一等四十錢　二等三十錢　三等十五錢

活動寫眞　黃金館

日時　五月十七日より廿二日迄午後六時半開場
（一枚二人共通）
京城日報社

雜貨問屋
釜山大廳町　明治屋本店

洋酒　罐詰　糖粉　卸商
（月刊發行）
釜山　あづまや商店

マスヤ

肥料
釜山驛前　マルカケ商店
電話長八三　振替三九二番

乾物　糖粉　煙草　雜貨　卸問屋
釜山　山西一商店

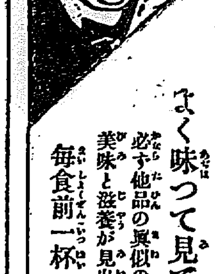
酒精　西貢米　砂糖　燒酎　碎米　麥粉　大豆　大豆粕　食料品　雜貨
釜山埋立新町　福田商會
電話長一〇八番

釜山商店案内

日本及歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸最新藥
チスケチ
食慾が進まない時に食慾を促す
元氣が衰へた折に活力を與ふ
貧血のものには血液を補給す
精力の增進と體量の增加を促す
現今醫學大家は胃腸の諸疾患に本品を最も賞用せらる

（呈進錄目）
山葉、鈴木製樂器代理店
各樂器　卸小賣
京城本町二　山口樂器店
振替京城五二二五番

於東京化學工業博覽會
金牌受領
最上醬油
釀造元
日本醬油株式會社



金牌賞牌廿四個受領
なるほど
美味である
滋養がある
と
賞讃されつゝある
蜂印香竄葡萄酒
よく味つて見て下さい！
必ず他品の眞似のできぬ美味と滋養が見出され升
毎食前一杯づゝで元氣健康を增進す
東京本町
近藤利兵衛

飲料界の覇王
宮内省御用達
三ツ矢サイダー
平野水
コロナ
帝國鑛泉株式會社

三ツ矢サイダーの活躍
清涼飲料界の代名詞の如く都鄙到る處に歡迎せらるゝ三ツ矢サイダー本社と協議の上左記組合を設け在庫品潤澤に候間倍舊御用命被仰付度奉希候
京城三ツ矢サイダー共同販賣組合
組合店
龜屋商店
河野京城出張所
柴商店
山邑京城支店
藤岡商店
假事務所　山邑京城支店内
京城明治町・電話八四九・一四五四・振替京城七五番

内科　眼科　小兒科
京城黄金町三丁目赤門通（電車停留所前）
本田醫院
院長　本田建義
附屬　京城肛門病痔疾療院
電話二四四三番　振替京城三三二八番
肛門病の話　入院隨意　痔疾特種注射根治療法解説書入用の方郵券十二錢要す

共樂社
京城龍山元町四丁目漢江堤電車終點
社主　富山武盛
電話五二八番

贊化病院
京城明治町一丁目　電話二四番
内科　小兒科　入院隨意
醫學博士　古城憲治

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第七十九席

襖を開けて入つて來た半之丞の姿を見て　主『オヽ、弟か、襖を懸けずに遽しく何の用があつて參つた　半『兄上、お隱しあつては不可ません、先刻御前よりお戻りになつて何事も仰しやらず、居間へお入りなされましたが、何ぞ仔細のあることゝ存じ、お次に忍んで御樣子を見て居りますと、何か御書面をお認ためになつて御支度をなさる御樣子、若し御短慮な事でも遊ばしては一大事と存じましてお叱りを顧みず立入りました　主『イヤそれは取越苦勞と申すもの、少々細川殿まで申上げる用事あつて書面を認ためて居つた、別に短慮なことはいたさんから安心しろ　半『イエ〳〵不可ません、お隱しなさつても兄上、眉間の傷はどうなさいました　主『ウム之れは……　半『唯一人の弟にお包みなさるのは恨めしい、定めし惡人共が付けた傷と半之丞は察しましたが、武士たるものが面上へ傷を受け、手出しもせずに御生害とは兄上にも似合はぬ未練卑怯……　主『イヤ決して卑怯ではない、モウ恁うなれば包み隱しはいたさん、誠に其方の察する通り今日御前にて斯樣々なの次第、將軍御上意にあらずんば左內兄妹の首捻切つて捨てべきものを、手抗ひいたさば將軍へ逆心も同樣、無念を堪へて戾りし心中、察して呉れ　半『御尤でございます　主『此上は主水も覺悟、之れを認めた書面は決して生害する所存ではない汝に宛て、死後の事を頼み置き、今夜にも御所內へ忍び入り、左內兄妹を切つて落し、お家の惡臣を拂ふ心得、主水一旦決心したる以上は必ず止めて呉れるな　半『それでは兄上には今宵御所へ切込んで兄妹を殺す思召しでございますか　主『如何にも……　半『それは兄上のお考へが淺うございます、當座の敵は左內兄妹ながらそれは取るに足らぬ小人、眞にお家の惡人といふは三好松永岩成の一類、細川殿を初めとして忠臣の方々の御心を悩ましたまふも固は三好の三黨の外はございますまい何故兄上も細川殿の一味となつて三好誅伐の計略をお廻らしなさらぬか、今死んでは犬死となりませう　主『成程其方の申すことも一應は理だ、併し三好松永の一黨威勢盛んにして仲々我々共の手を以つて誅伐は覺束ないこと之等は細川上野を初め歷々の人々の考へもあらう、主水はたゞ左內兄妹を討つて當座の惡人を斷すまでのこと……　半『それなれば宜い事がございます、兄上には今まで包んで居りまして、お話申上げませんが、私が先達て稻荷山へ參詣をいたしまして戾り道、伏見街道で行逢ひました乘物、美くしい婦人が引戶の蔭から見て居りまして思はず顏を見合せましたが、其時はそのまゝ行所の人とも知らず別れました、跡で聞きましたら其れが將軍の御愛妾白妙といふ婦人、微行で稻荷へ參詣とのこと、其の後一月ほど經ちましてから先月の末より私の許へ白妙殿から每日のやうに艷書を送つて參ります、取次をいたすのは乳母の木賀、白妙殿の老女星瀬といふ女、近付きから頼まれて屆けて參りますが、固より私がそのやうな艷書を開いて見る考へもなく、悉らず火中に投げて了ひ、恥になることも洩れてはならぬ事、兄上にもお話申上げた事はございませんが、昨日もまた木賀から屆けて參りました艷書未だ火中はいたしませんが此に持參いたし居ります、之れを御覽下さるやうに』と懷中から取出した一封の文、主水驚ろきながら手に取上げて見ると筆跡も美事に『戀しき半さままゐる、雪より』としてあるのは白妙の隱し言葉と見ゆる傍に一首、『我袖に夜每時雨のふりぬるは君につれなき秋や來ぬらん』としてある、主水今更ながら其美しき水莖の跡に感じ入つて見て居ります

外科一般　皮膚科　泌尿器科　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院　電話四一九番

暦

五月二十日　九星　本命　六白　乾　閏　友引　舊四月十一日　丁卯

[illegible]

演藝案内

京城本町　壽館　電話一〇五〇

當五月十八日より晝夜二回

浪花節　前狂言　三日月治吉　切狂言　[illegible]

有樂館　活動寫眞常設館

長谷川總督閣下御高覧を賜ふ　學生、軍人は必ず御覽あれ

當る五月十六日より十九日（日曜）迄興行

▲歐洲大戰亂怪物鬼　白働車　全七卷

▼其他滑稽物數種

大正館　電話八七三

[illegible]

ユニバーサル大活劇「アンブローズの血眼」二卷　[illegible]

黄金館　電話二二六三七　二二六六

當る五月十七日より特別興行

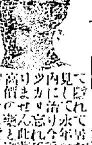
西部五郎延十郎大活躍　大活劇　史劇　[illegible]　大秀郷

▲第三回　怪活劇『ミラの秘密』三十一卷の内

▲新派悲劇『戀』全三卷

[illegible]

りん病



百圓

[illegible]

東京淺草區田町五十一　石井康夫

石油發動機　八馬力　東京池貝　壹臺

セントル、ヒユグル　ポンプ　口徑四吋　壹臺

鐵管貳拾五尺　ベンドフートバルブ共

右割安價却來談願上候

京城南大門通五丁目　器械材料商　中村幸商店　電話二二五番

最新流行　時間正確

◈變形新荷着◈

一、銀側タバン十五石入　楕圓形　腕專用

一、同　ース十五石入　角切菱　腕專用

一、同十五石入　四角　腕專用

各金貳十七圓

一、同マーヒン　小判形　腕專用　金貳十二圓

送料　鮮內十二錢　外三十錢

▲金銀側時計寄贈品御取揃へ居り候

時計は勿論金銀杯共精々安價調製可仕候

京城太平通　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

汽車

京釜線（南行）（北行）　京義線　京元線　京仁線　[illegible]

名古屋 鮮滿行割引運賃▼

掲題の貨物取扱の爲め明治四十二年以降運賃割引の認可を得取扱致居候

相當の經歷を有し居り各位の御高庇に依り逐次扱量の增加を來したるは弊社の光榮とする處にして感謝に不絶候爾後取扱向十分に注意を加へ迅速鄭重に扱料も出精可致候間何卒御指命被成下度奉願候

名古屋に於ける御取引の取調事項は無料調査御報告可致候間無御遠慮御申附被下度候

名古屋驛前（運送通關取扱業）

合資會社　鮮滿運搬部

電話（長）三八、三三、三七　六、二一八〇　電信略號「ハン」

學理上　實驗上

一番齒の爲に良い

クラブ齒磨は

日本で初めて出來た科學的齒磨で

信用最も厚きクラブ齒磨は貴重藥品と卓絶せる有効原料とを用ひ有名なるクラブ洗粉本店工場に於て日英兩國技師協力の下に謹製したる品質第一の齒磨なり。本品は知識階級の愛用頗る盛にして陸海軍及び帝國大學並に各醫藥學專門學校に於て理想の齒磨として推奨されつゝあり。

京城日報 第二五版
(年中無休刊) 昭和七年五月十九日 THE KEIJO NIPPO (明治三十九年八月十日第三種郵便物認可) 第三千八百二十七號(一)
十九日朝刊(朝夕刊を併せて八頁)

朝鮮司法機關創設十年記念

轉た感慨無量
新司法制度創設十周年に際して
前法部大臣 趙子爵談

朝鮮には元大明律と言つて秦の始皇帝以上の殘忍悪虐の刑法があつて逆賊と認めた者はごしく\死刑に處し剰へ所謂『連坐法』に依つて三族をまでも滅したものであつた

▽私の十八代前 の先祖に趙克寛と言ふのがあつて當時の反洞今の齋洞に棲んで居つたが失脚し反逆罪の名に依つて上下眷族七百餘名は斬殺され居宅は潰されて深淵を造られた然も罪料を調べると反對黨の者が王様に讒したためで今ならば違警罪にもならぬ程の事にまでも勅令を下して多數の人命を奪つたのである

▽大明律が實施 されてから五百年にもなつたが其間數十萬の無辜の人民が惨うした亡状の下に殺戮された事を思へば轉た戰慄を禁じ得ないが此外にも不斷爲律と言ふのがあつて只惡い事をしたと言ふに過ぎないものを引捕へて何等裁判に附せずに殺して了つたり斬罪に處した者の手足等を斬て朝鮮三百八十郡を晒し歩くが如き

▽野蠻極まる事 をしたものであつた、明治二十七年金宏集内閣の時大明律は人道上存在を容す可き者でなく國力の増進上一日も早く廢さねばならぬと言ふので刑法の改正を企て時の法部大臣張錫周男が刑事局長であつた私が專ら之に當り、井上公使も熱心に我々を援助して星亨氏を法律顧問として聘し後に米人グレー氏野澤氏を聘して

▽法律の改正を 爲し遂ひに人間は裁判に依つて殺す可きものであると言ふ法律を發布するに至つたが金内閣が崩壊するに及んで金宏集は殺され私は張明と共に日本に亡命した改革派の内閣が潰れると然は又元に踹つて一時弛廢したが流石に勅令として發布した事とて連坐法と斬罪とは廢して人を殺すにも裁判に附するやうになつた、其後私は特赦されて

▽李完用伯内閣 を組織した時法部大臣となつたが當時義禁府にあつた數百年來の死刑の判決書類を見ると數十萬の死刑者中罪ある者は九牛の一毛に過ぎなかつた又監獄に行つて見ると罪無くて五年も十年も入獄して居る者が多かつた實に悲惨な状態であつたので益々刑法の改革の急務なるを感じたが今日に至つて見れば人民を苦しめた處の法律は

▽痒い處に手の 届くやうに人民の生命財産を保護する罪ある者は制し罪無い者の寃罪に泣く者は全くなく、光明なる日月慈惠の雨露は人民全體が平等に浴する事が出來るやうになつたのは朝鮮人の新政に對する感謝の中最も深甚なものである、私は司法新制度創設十周年記念會開催に際し往時を回顧して轉た感慨無量であるが不幸にして病氣のため意味深長たる記念會に列する事の出來なかつた事を眞に遺憾とする

朝鮮司法制度の沿革
(中) 李朝末葉より總督府時代に至る

李朝末葉
新裁判所設立

明治二十七年、大島公使は革新要目五條を韓王に呈し裁判事務の革新に言及し、井上公使も政策二十條を國王に致して刑律を定むることに及び各官衙に顧問官を聘用するよう勸告し、翌二十八年一月國王は太廟に詣して洪範十四條を祖宗の靈に誓告し其中、『民法刑法を嚴明制定し濫に監禁懲罰を行はず以て人民の生命財産を保全す』といふ項目があつたが、次で法部衙門に日人顧問及同補助員數名を聘用され顧問等は直ちに刑法の制定に從ひ、其他司法事務の改善に著手したが、政變の爲國王露國公使館に遷幸のことありて、日韓の關係一變し、顧問等は其任を去つた

其後明治卅七八年戰役により、韓國は帝國の保護を受くべき干係を生ずるに及びて、司法事務刷新の爲、日本人を法部の參與官に任じ司法行政の事務に與らしめ、又平理院以下の主要なる裁判所に法務補佐官又は補佐官補を配置して裁判事務の指導に當らしむることに成つた、次で明治四十年七月更に兩國政府間に協約が成立して、韓國政府は施政改善に關し統監の指導を受け、統監の推薦せる日本人を韓國官吏に任命し、又司法事務は之を普通行政事務と區別することになつて、玆に韓國に於ける司法權獨立の端緒が開けた、爾來法部に次官以下日本人官吏多數を、又裁判所に判檢事及び裁判所書記を内地より招聘し、樞要の位置を授けて事務の整理改善に努めたが明治四十二年七月に至り、機運再轉して司法及び監獄の事務を擧げて帝國政府に委託する事になつた

明治二十七年、所謂甲午の改革に當りての韓國政府は裁判所構成法を公布し、地方裁判所、開港場裁判所、巡回裁判所、高等裁判所、特別法院の五種の裁判所を設置することを定め、其後多少の變改を加へたれども明治四十年に至る間法規、制度の上に於ては儼として特別法院、平理院、巡回裁判所、漢城裁判所、開港場裁判所、地方裁判所が存してあつた、然かも實際に於ては平理院及漢城裁判所の外は獨立裝設の[illegible]

甲午改革後幾多の法令發布されたれども、多くは朝令暮改、中には實際に施行せられざるものもあつた、其後明治三十八年刑法大全を制定し、唯一の典據と成つたが、民刑事の訴訟手續は遵據すべき成規殆んど缺如して居つたので、明治四十一年新制度の實施に當り、刑法大全に大斧正を加へ、時勢に適應せざる箇條を削除し、又新たに民刑訴訟規則を制定された

韓國に於ける辯護士制度は明治三十八年に[illegible]設、同四十二年辯護士の資格其他に付[illegible]の修正を加へ、又日本人辯護士は[illegible]

明治四十一年の革新時に於ける裁判所の構成は大體に於て範を内地に取り、大審院、控訴院、地方裁判所及び區裁判を設けて三審制度を採用した、而して全國に大審院一、控訴院三、地方裁判所八、區裁判所百十三を設置する計畫を樹て、司法權委託迄に大審院一、控訴院三、地方裁判所八、區裁判所五十四を開所し、大審院檢事總長の事局を併置し、各裁判所には檢統轄の下に檢察事務を處理さるることに成つた

明治四十一年、從來の制度を廢して裁判所構成法を定め[illegible]

統監府時代
司法權委託以後

保護政治創始せられてから、諸般の政務と共に司法制度も著々改善されたが、同時に政務膨大して韓國政府の財力は其負擔に堪へなくなつた、於是明治四十二年七月日本國の司法及び監獄事務は舉て日本帝國に委託し、其年の十月韓國政府は法部、裁判所及び監獄を廢止し、同時に帝國政府は統監府司法廳官制、同監獄官制、並に統監府裁判所令其の他司法事務に關する細則を發布し十一月一日之を實施し法部、裁判所及び監獄事務の引繼を受けた

韓國に在留する日本帝國臣民にして民刑事訴訟に付被告と成りたる場合には[illegible]、統監府裁判所に移し、[illegible]て統監府裁判所に移し[illegible]

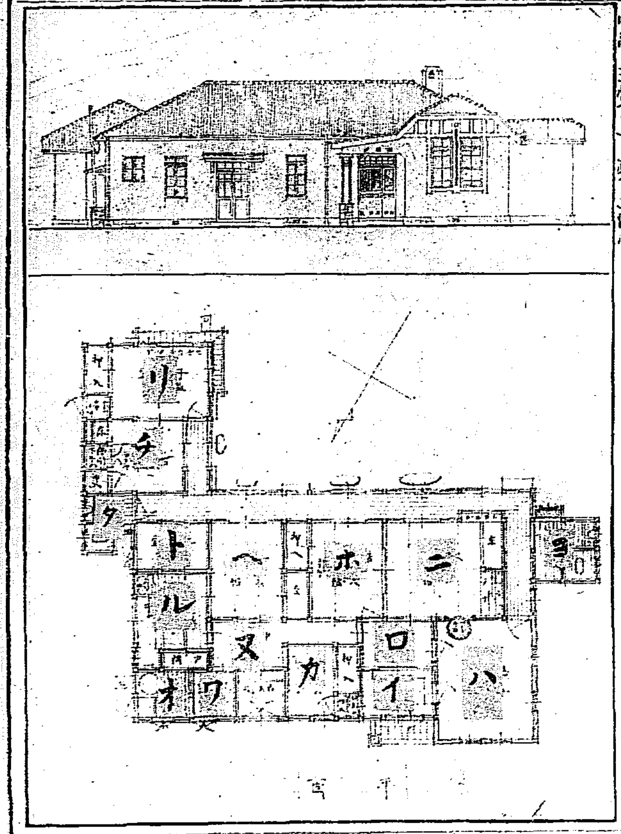
事情に依り行政官たる郡守に裁判事務を取扱はしめて居る處もあつたが、開設と同時に斷然之を廢止し、裁判所は各種の訴訟事件に付帝國の民法、商法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法等を準則として韓國の事情に適應すべき除外例を設け韓國民に對しては原則として韓國法規を適用することゝして急激なる變改を避けられた

總督府時代
自併合至現時

明治四十三年八月併合の大事成るや、帝國の權力に因り、朝鮮に居住する者は其の日人たると鮮人たると將た外國人たるとを問はず、總て帝國法權の司配を受くることゝ成つた、同年十月一日新官制施行され、司法部は之を廢して總督府に司法部を設け、司法行政の事務を掌らしめ、同時に朝鮮總督府裁判所令を公布し、大體に於て統監府裁判所の制を踏襲したのであるが、越て明治四十五年四月改正を加へ、現今の制度に改められた

總督府裁判所に於ても當初は統監府裁判所の例に依り、原則として帝國の法令を適用し、朝鮮人に限り特別の規定ある者を除くの外、帝韓國法規に依ることゝ成つて居た爲めに、全然別種なる二個の法系を存し、彼此錯綜して實際の運用上非常の困難があつた、由て明治四十五年四月、從來の諸法規を整理統一し、内地人、朝鮮人及び外國人を通じて原則として同一法規を適用することに改められた、即ち民事法規に關しては朝鮮民事令、同不動産登記令、同不動産證明令、同登錄稅令及び其の施行上必要なる規定を設け、民法商法民事訴訟法不動產登記法其他内地の現行法に依るべきことを本則とし、之れにも事情に應じて除外例を設け、又刑事に在りては朝鮮刑事令を制定し刑法及び刑事訴訟法に依るものとしたるも尚朝鮮人に對しては殺人、強盜、強姦等の犯罪に限り、當分の内刑法大全の效力を有せしめてあつたが、前期議會の協贊を經たる共通法の實施と同時に、刑法大全の殘存條項を廢止さるゝ程に、朝鮮の社會狀態は改善されたのである

朝鮮民事令は大正[illegible]年三月公布された、[illegible]朝鮮刑事令も制定され[illegible]



略説明

(イ)玄關(ロ)取次の間三疊(ハ)應接室五坪(ニ)客室八疊(ホ)居間六疊(ヘ)茶の間六疊(ト)配膳室三疊(チ)老人室四疊半(リ)小供室温突三坪(ヌ)中の間四疊半(ル)臺所(ヲ)浴室(ワ)脱衣室二疊(カ)女中部屋三疊(ヨ)上廁(タ)便所

懸賞募集 防寒建築四等當選案
京城 竹内茂市氏案

總建坪四十八坪四合木造平家建内部眞壁塗應接室大壁外部繩目張り付塗屋根瓦葺とす

防寒の爲床下敷き建築用紙又は古新聞紙二枚通り敷き天井板重ね張り狹み仕合上部防寒の爲建具は皆二重とし壁は内部眞壁上塗砂壁及び黄大津塗應接室大壁天井漆喰塗

外部は外面ら荒し付紙子打八分以下迄數回に塗立て砂漆喰の上セメント叩き付塗應接室は純毛の敷物客室居間は前後表柿色麻緣付け其他繩緣付け女中室七疊表温突部角紙紙張天井間似合形紙張とし採暖保温の爲應接室客室の界にペーチカ居間及び老人室には炬燵を切り小供室は温突とす

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金一圓二十錢
廣告料金 七字詰一行 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 小川三之介

△郵便爲替規則改正 五月一日より實施の郵便爲替規則改正を加ふ

△鐵板益強硬 鐵板は依然[illegible]

勸業債券高價買入
貯蓄、實行は最も手輕なる月賦賣
一ノ組 五十回 初回
二ノ組 六十八回 初回
二千圓の籤 毎月くじの樂める組賣
三ノ組 六十七回 初回
支部出張所代理店增設
東京丸の内 振替口座東京
大日本勸業合資會社

實業之日本
戰爭が長引くとせば貿易の前途…堀江博士
外國貿易は如何
鐵の供給と値段如何…今泉上野博士
工業界の變化は如何…神戸一郎
後藤外務大臣論 尾崎行雄 大木遠吉 早川鐵冶
獨創力の涵養…增田義一
一點を凝視せよ…新渡戸稻造
危險思想の解毒
學生旅行 にハンモックを携帶し山野に起臥して精神身體を鍛錬する新提案 ハンモックの構造等圖入にて說明
(會社評論)九州電軌
工場改善 實驗
玩具職工より大工場主(青年必讀文字)
豆粕飯の効用 田邊玄平
腦脊髓膜炎の療法 醫學士
強壯新食用劑カロピス現はる(多年苦心研究の結果發表) 醫學士 榎本芳二
一冊十八錢 五月十一號 定價五十錢 東京京橋區 實業之日本社 振替東京三二六番

朝鮮移住民募集
第一種 (三町歩以内ノ地主トナルモノ)九百四十戸
第二種 (十町歩以内ノ地主トナルモノ)…六十戸
申込ハ 本年九月末日限(内地ハ下關出張所へ 鮮内ハ京城支店へ)
移住手續 移住案内ニ詳記シアリ照會次第送ル
朝鮮京城 東洋拓殖株式會社京城支店
下關市 東洋拓殖株式會社下關出張所

法學博士 桑田熊藏先生著
增訂 工業經濟論 五版發賣
改訂增補成る 好評嘖々たる本書は第四版已に賣切たるを以て著者は公私多忙の身を以て學界に對する責任として各章に渉て訂正を爲し行文更に明確を加へ殊に社會政策に關する部分に就ては最近の事實に基き殆んど完璧となれり幾多の增補敢て江湖識者の一讀を望む
菊判金一冊 定價金三圓 送料内地金十二錢
東京神田一ツ橋通 有斐閣 振替東京三七〇

舟遊びには
漢江 遊船俱樂部 龍山電話一〇番へ
△御一報次第參上▽

京日案内
普通 一回前金一行 番外一回前金
◎店員入用 年齡廿歲前後數名履歷書持參 新龍山三角地前 菓子商
◎事務員採用 年齡廿六七歲より卅歲迄希望者履歷書携帶乙來談 南山町二丁目 京城ホテル 103
店員一名 廿一歲以上 要保證人 外交員一名 本町ツツボヤ商店 101
◎京城商業卒業者 朝鮮人式名入用 南大門通り五丁目 齋藤商店 93
藥劑師被雇 勉強の餘暇有病院或は藥舖に被雇度 報酬不望 電話二九九二番 67
朝鮮パナマ帽子 製造元 北村兒玉商會 京城本町二丁目 109
まるさん質店 上月質店 99
社員招聘 日鮮人年齡卅歲以上身元確實 京城府南大門通一丁目 大同生命保險株式會社京城支部
◎中古ミシン買入 京城鍾路二パゴダ 楠商店 電話三三八 52
◎ほねつぎ(うちみ くじき) 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 24

最新刊
◎小紙庫 三宅雪嶺著 定價一、五〇
◎明ゆく路 野村愛正著 定價一、二〇
◎新式圍碁寶典 五段鈴木爲次郎著 定價各六五
京城本町 大阪屋號 電話六八四番 二〇八六番 振替京城二五七三番
(本店)東京(同店)大連 旅順 鐵嶺 釜山

軍事協定經過

露支接壤方面＝極東海上防備

露獨單獨講和の結果獨逸の勢力東漸の兆あるを慮り日支兩國は之を防衛する爲め協同一致に出づるの必要あり日本より或種の提議を爲したるに支那側にても之れに對し同樣考慮中なりしが愈々之れに必要なる軍事協定を爲すに決し日本側よりは三月二十一日陸軍委員、同二十三日海軍委員北京に到著し陸軍側は公使館附武官齋藤少將委員長として宇垣少將、本庄大佐、川崎少佐、山田大尉、山口大尉の五名の委員、海軍側は吉田少將、公使館附海軍武官伊集院大佐、樺山大佐の三名の委員、合計八名の委員にて支那側は陸軍側靳雲鵬、山同豐兩氏海軍側振中將、海軍部參事吳振南氏等數名委員となり、正式に具體的協議に入りたるが此間支那側は頻々閣議を開き秘密裡に進行せしが大體の意見は双方共初めより一致せる爲め進捗頗る速く四月上旬迄に全部の協定を了する模樣なりしが細則の協定に入りたると基礎の性質對等的にして何等支那の國權を害するものなきに拘はらず民間にて之れを曲解誤聞する者あり京津タイムス一度虚報を傳ふるや各紙相踵ぎて臆測を逞うし遂に支那側軍事委員以外總統府參謀部、陸軍部、外交部よりも委員を派して愼重審議の結果決定を見る迄には三度外交部の檢閲修正を經たるが其内容は極めて平和的にして何等支那の國權を害するが如きものにあらず而して其目的は日支兩國の協同防備にして陸軍に於ては露支接壤方面の防備、海軍にありては極東海上の防備に關し軍事上の協定を爲せるものなり（北京特電）

▲軍事協定調印公電

去る十四日の閣議にて決定せる日支軍事協定は去る十六日北京に於て彼我委員の間に調印を了せる旨十八日午前九時政府に公電ありたり（東京特電）

◎留學生煽動説否認

支那新聞赴日記者團は十七日馮總統に謁し視察の感想、歡待の状態等を委曲報告せり猶同團は在日本の支那留學生を煽動せりとの説を否認し斯る風説の起りしは頗る遺憾なりと辯解せり（北京特電）

◎赴日記者團の結合

赴日記者團は國際新聞協會と稱し日支記者、日本公使、支那外交總長を會員とし將來兩國の誤解を解くに斡旋する事となれり（北京特電）

◎米國亜露鐵道管理

米國は著々西伯利方面に活動しつゝあるが米國政府は最近過激派と交渉の結果西伯利鐵道全部を管理する事となり近々浦鹽よりエマーソン外數名の技師莫斯科に向け出發する筈なりと報ぜらる（北京特電）

◎民主黨の新政府反對

立憲民主黨本部は同黨が依然聯合諸國と親善關係を保つを主義とするものにて獨逸の援助に依りて新政府を樹立せんとする運動に反對なる旨を決議せり（莫斯科電報）

◎食糧問題と勞働者

護國祈願の爲め祈禱會を催す

露都の食糧問題は依然改善の見込無く勞働者間の不平益々昂るより勞兵會は檄文を發して是れが慰撫に努めつゝあり、ペトログラードの清教會側と同盟會は迫害除け及び護國祈願の爲め同地カザン寺に大祭を催したる後聖像を先登とし市中を行列せるが是れに參加せる信徒一萬人を超ゆ中に多數の勞働者を見受けたり（莫斯科特電）

◎總督雄基著

長谷川總督一行は十八日朝慶興發午後一時半雄基著森本旅館に投宿せるが慶興より歩兵一箇小隊警護し來れり一行は十九日朝雄基發羅津に到り港灣視察後同地に回航の弘濟丸にて元山に向ふ筈也（雄基特電）

◎拓殖官出張

十八日附を以て左記の通り辭令ありたり（東京特電）

法制局長官兼拓殖局長官　有松英義
拓殖局書記官　國田覺
支那へ出張被仰付（各通）

新司法十年記念會

五月十八日朝鮮ホテルに於て

朝鮮司法機關創設十年記念會は十八日午後二時三十分より朝鮮ホテルに於て擧行されたり、參會者は主催側として會長渡邊高等法院長、國分司法部長官を始め司法部、裁判所、監獄職員、公證人、京城地方法院所屬辯護士、訴訟代理業者等約二百三十名、來賓としては山縣政務總監以下本府各課長各所屬官署の長、銀行會社代表者、民間有力者、新聞雜誌通信記者の主なる者約百三十名にして定刻食堂を開始したるが席上渡邊會長左の如き挨拶をなしたり

▼渡邊會長挨拶

回顧すれば今より十二年前即ち明治四十年の七月時の統監伊藤侯爵は韓國內閣總理大臣李完用氏と日韓協約七箇條を締結せらる其第三條に『司法事務は普通行政事務と之を區別すること』又其第五條に『韓國政府は統監の推薦する日本人を韓國官吏に任命すること』の約定あり是れ我等內地人

▲司法官が韓國に招聘

せらるゝに至りし根源にして其翌年の初より漸々數十名の司法官招聘せられ其年六月十三日大審院長其他地方裁判所及び同檢事局以上の各監督官は今日の總督官邸に招集せられ其席に於て伊藤統監より述べられたる演說中に左の如き數節あり

百般の改良に注意して考慮を加へたる結果何より改良の端緒を啓くべきやと云へば第一は司法權を行政官の手より離すに在りと認め新協約締結の際之を其一箇條とせり司法權の獨立存在せざれば個人の譲政は或は行はるゝも到底全體に施政の改良を望み能はざるが故自分は先以て司法權の獨立を韓國政治改良の劈頭に掲げたり」「司法の獨立は自分の眼中に在ては百般の改良中其最も重きをなすものにして之なくんば百事改良の効なしと信す韓人の之を好むと否とに拘らず司法權の獨立を實行せんと欲す是れ諸君を煩す所以なり

▲司法權の獨立

我等團と學校の先生より又幾多の著書より之を見聞せざるに非ず然れども始めて韓國に入り彼の山河の荒廢彼の人民の疲憊を見聞して又右の大演說を拜聽するに於て我等感慨無量、我等不肖と雖如何でか奮勵せざるを得んや爾後茲に十年一日も其の訓言を忘るゝことなし其の之を忘れざる所以のもの他なし司法權の獨立なきが爲めに行政の改良其効を行せらるゝ所の百般の改良其効なくんば司法官の罪、且重大なればなり。

▲文明諸國の法令

は司法權の獨立を保障せんが爲に或は司法官其人を終身官と爲し或は特に設置したる裁判官の裁決に待つに非ざれば其人を懲罰す可らざるの制を設くるが如き是れ恰も司法官其人を保護するが如しと雖も其主たる目的は司法官其人に非ざるなり司法權の獨立を尊重する所以のものは一に國民の權利を尊重するに因るのみ

▲我々は恒に此の精神

を持し即ち司法權を尊重するは國民の權利を尊重する所以なることを心に刻み司法に從事して今日に至れり然れども今日伊藤統監をして在らしめば果して「我が第一の目的を遂したり」と云はる可きや將た『未だし』と云はるべきや我等之を拜聽すること能はず甚だ遺憾とする所なり然りと雖も韓國に於ける行政事務に關する諸般の状況を觀察するときは百事の改良日に月に奏功收熟しつゝあること蓋し何人と雖も爭ふ可らざるの事たり此の事或は以て

▲司法權獨立の證

と爲すことを得べき歟果して然らば是れ我等の力に頼るに非ず上は天皇陛下の御盛德に頼り次には前總督及び現總督兩閣下並に御列席の各位の御指導御援助に依るものと云はざる可らず然り則我等は只獨り自ら悦ぶ可きに非ず我等は宜く益々司法權の獨立、國民の權利保護に鋭意すべき事を誓ふ可く又一面に於て各位に對し聊か謝意を表せんことを欲し特に此の會を催したるものなり。依て

▲各位に御案內申上げ

たる處多數の方々萬障御差繰り御臨席下されたることは一同の實に感謝に勝へざる所なり厚く御禮を申上げます然るに設備萬端甚だ不行届にて申譯無きも何卒我等の微意を容れられ悠々と御歡談下されん事を希望の至に堪へず

▼總監の謝辭

右に對し山縣政務總監は來賓を代表して左の謝辭を述べたり

司法機關創設以來茲に十年今や朝鮮は昔時の朝鮮に非ず齋藤惡習全く改善せられ新政の德澤化育は全土に遍く民衆其堵に安んじて業を楽み產を治むるに至れるもの是偏に朝鮮法曹界各位が協心戮力司法の本義に基き施政の方針に順應して其の運用を誤らず以て克く裁判の公平嚴正を發揮せられたるに職由せずんば非ず其功績の大なる蓋し萬人の等しく首肯する所なり余は今日此の席に列し各位と共に祝賀する事を得るは洵に歡喜に堪へざる處、冀くば各位は將來一層職務の遂行に意を用ひ益々司法の權威を發揚し以て新領土の開發に資せん事を希望す

◇電報交驩

首相及倉富博士

右主客の挨拶終りたる後委員は左の電報を朗讀せり

▼首相へ謝電

記念會擧行に際し前總督寺內首相に對し左の電報を發したり

司法機關創設十周年に相當するを以て朝野法曹相圖り本日朝鮮ホテルに於て記念會を開催す朝鮮の司法制度が今日の整備を見るに至りたるは偏に閣下御統督の賜に外ならず茲に會員を代表し謹で感謝の微意を表し併せて閣下の御健康を祈る　渡邊會長

▼首相の祝電

右に對して寺內首相は左の如き電報を寄せたり

貴電拜誦朝鮮司法制度の今日あるは各位御盡力の結果に外ならず却て鄭重なる御挨拶を忝うし恐縮に存ず茲に記念會の盛會を祝し併せて會員各位の御健康を祈り將來の御努力を冀ふ　寺內正毅

▼前長官へ謝電

渡邊會長の名を以て前司法部長官倉富博士に對し左の如く謝電を發したり

司法機關創設十周年に相當するを以て朝鮮法曹相圖り本日朝鮮ホテルに於て記念會を開催す朝鮮の司法制度が今日の整備を見るに至りたるは偏に閣下の御施設と多年御指導の結果に外ならず茲に會員を代表し深く感謝の意を表し併せて閣下の御健康を祈る　渡邊會長

▼前長官來電

前司法部長官倉富博士は開會に方りて左記第一項の祝電を寄せ更に前記謝電に對して第二項の謝電を寄せたり

一、十年記念會の開催に當り謹で司法機關の整備發展を祝し會員御一同の萬福を賀す　倉富勇三郎

一、司法機關創設十年記念會御開催に付御懇篤なる貴電に接し深く御厚意を謝す會員御一同の健康を祈る　倉富勇三郎

◎大連滯貨夥し

船腹不足の爲め大連埠頭に於ける滯貨四十五萬五千噸に上り最大記錄を作れり（大連特電）

◎釜山記念會

十八日午後二時三十分釜山地方法院にて司法機關創設十周年記念會を擧行し鈴木法院長新制度十周年の沿革を述べて挨拶を爲し若松府尹並に大池氏の祝辭あり後立食の宴を開きたるが模擬店及び諸種の餘興あり同五時散會せり列席者多數にて未曾有の盛會なりき（釜山特電）

◎琿春視察團著清

琿春視察團一行は十八日午後八時來清一泊の上十九日朝會寧に向ひ會寧視察後琿春に急行の筈なり（清津特電）

◎ハリス博士著連

ハリス博士丹羽清次郎氏等は十八日午前八時著連博士は午後四時より滿鐵食堂に於て講演を爲せり（大連特電）

◎軍司令官歸任

南鮮諸部隊檢閲の爲め出張中の駐劄軍司令官松川中將は十八日午後八時五十分龍山著列車にて大田より歸任せり

◎久保局長大連行

滿鐵京城管理局長久保要藏氏は本社との事務打合せの爲め二十日朝南大門發大連に向ふ筈

●朝鮮及滿洲社移轉

雜誌朝鮮及滿洲社は今回市內南山町一丁目十四番地に移轉同時に釋尾社長も同所へ轉宅したり

◎化粧品商團の謝電

本月初旬以來鮮滿地方を視察中なりし東京ムクス化粧品商團主催化粧品卸商組合の會員二十一名は豫定の日程を了へて一昨十八日午後無事歸京解散したる由にて本社に左の謝電を寄せ來れり

一同無事唯今著京致したり大連以來沿道到る所に於て貴社の熱誠なる御斡旋と懇切の御案內に因り一同大満足歸京一行解散に際し謹て貴社の御厚情を感謝す

人事消息

▲廣田鎮治氏（三菱合資會社鑛業部副長）十八日夜入京朝鮮ホテルへ ▲木村林次郎氏（三菱兼二浦支所長）同上 ▲松井茂治郎氏（元山理財長）同上蒲屋旅館へ ▲吉原重長氏▲非要三郎氏（東京工業家）同上天眞樓へ ▲織田信照氏（大連鈴木商店）同上 ▲高橋久一郎氏（安東鈴木商店支店長）同上 ▲木崎利吉郎氏（咸鏡南道仁健鑛山長）十八日夜退京 ▲岩下龍太郎氏（福井縣技師）同上 ▲田島道謙氏（代議士）十九日朝退京 ▲川上淑孝氏（帝國飛行協會幹事長）十七日朝入京不知火へ ▲大島良平氏（江原道事務官）十八日夜同上

百商百種

神戸の鈴木と云へば恐らく日本で知らぬ人はない位だ日本許りではない海外迄も知れた豪商である▲其活躍振は却々素晴しいものでグン〳〵やる處は他の鳥渡企及せぬ處があつて痛快だが▲此間大連で豆粕の買占めをやつて見ん事失敗し其埋め合せを內地で試みんと昨今大童になつて居るとの事▲持品は一切滅にしまつて出さず尚ほ盛に買煽る即ち妙れ上げ値段を無理に作らうとして居るらしい▲處が恰も米價暴落に際したので地場でも地方でも鈴木が百計盡きて如何に焦らすかを靜に待つて居るとか▲政府が米價を下げようとして居るのに鈴木は反對に豆粕から買煽つて居るとは奇態な對照だ▲扨て鈴木が米肥料糖石炭と四方八方に手を廻して買占をやる其金は一體何處から出て居るかと平生取引して居る銀行家でも不思議がつて居ると云ふ▲大連豆粕の買占には正金が何處迄も貢がうと勢援したのだが▲初夏になつて女の薄化粧が大分目につきだした▲一體顏に化粧を施す事は埃及人が猶太人に傳へたものである▲古代埃及ではヘブリウ婦人が海納と云ふ灌木の花に芳香のある事を知り▲尚ほ此木はジューディと云ふ地にも產する事を發見したが此花が彼等の香料であつたのである▲バイブルに記された此花をコペルと云つてある又希臘では之をキブロスと稱へ▲羅馬の博物學者プリニーはサイプラス人の香油は酒の中で此海納の花を煮て夫を搾つたものだと云つて居る▲化粧も斯うなると高尚だが彼のへんなゴテ〳〵には誰でも恐れ入らざるを得ない

◎俥夫の刃傷

……持出し橋口の右拇指を根元より切り更に左顎より右頸に達する重傷……

……たるが海軍中佐笹尾源之丞氏同船にて歸朝せり氏の談に據れば英國……

……動搖めき互ろ內仕切直し數回の……に入らんとするを綾飛び迹ひ樣左▲膝の川に常の花は右四ツ常倡……

◎醫師試驗發表

五月一日より總督府醫院內に於て施行中の……▲第二部合格者……

◎全鮮野球大會

朝鮮新聞社主催全鮮野球大會は十九日午前……

◎風雨警報

（十八日午後九時發）……

星印ソース
今やいづれの御家庭にても ソースは星印を御愛用になる
本品は其品質と賣行とに於てソース界の明星なり
全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す
發賣元 大阪市 祭原伊太郎

▲廣告▼
慘又慘!!!
深刻骨に徹し見來れば目を蔽うて戰慄せしむ
婦人見る可らず
米國フルトンフィテュア會社特作
軍事劇 戰時の女 全六卷
名優フランク、キーナン氏 エニッド、マーキー孃 出演
現今歐洲戰に於て戰敗國の婦人が如何なる慘忍事を蒙りつゝあるかを赤裸々に告白せる大寫眞
▲本映畫は現白耳義大使の裏書に依り東京電氣館大阪朝日座に於て公開されたり
▲一昨夜當地花月樓に於て試寫知名紳士の同情を求めり
舊劇 水戸黃門の內 大公方 四卷
冒險喜劇 米國キーストン社 五代將軍の珍改大樣と入間 アムブローズの血眼
十八日より 大正館

自動車講義錄●飛行機講義錄 日本自動車學校出版部
自動車運轉手養成
東京羽田穴守 日本自動車學校

易斷
高島易斷本部主事高島香明先生出張
受付 午前八時より午後十一時まで
場所 京城本町一丁目消光館內（電話二三五〇）
神易協會 高島易斷本部

タカヂアスターゼ
タカヂアスターゼは高峰博士發見の方式に據り本會社工場に於て製出せるものにして胃腸疾患に對する唯一の特効劑なり
外國に在りては同一の方式に依り有名なるパークデビス社が北米及英國所在の工場に於て製造し歐米各國に之を供給せり乃ちタカヂアスターゼは已に十數ヶ年來世界各國の醫學者に依り實驗的に使用せられ其効力を確認せられたるものなり
醫藥としての最大要素は多數醫學者の實驗成績が効用の論理と合致し使用者をして何等の顧念を挿む要なからしむる者なるに在り
本劑の聲價隆々として世に高きを羨み模出せる類似模造品あれども其品質效力素より同一視する價値あるものにあらず。醫學者實驗報告集無代郵呈す
東京室町 三共株式會社

一流の禁煙パイプ
なんの苦もなく樂みながら禁煙ができ……
東京醫藥學會新發見根本的禁煙法……
（發賣店）東京神田猿樂町三丁目……

專賣特許第三三〇六九號
木材防腐防蟲劑 クームヒン
白蟻、腐蝕に特効あり
說明書御申込次第送付
製造發賣元 京城旭町一丁目 山田商店
電話一〇七八番 振替三一九六番 龍山電話四二四番

毎朝一杯の
赤玉ポートワインは
一日活動の源泉!!
美味と滋養の純生葡萄酒
七大醫學博士の賞讃と證明を有す

▼合服三ッ揃▼
▲特（高等ポーラセル）（綾セル絹セル）金四拾貳圓也
▲甲（同上ホームスパン）金參拾八圓也
▲乙（同上）金參拾四圓也
◎オバーコート壹割下り
○地方御申越次第見本帳と寸法測圖解御送付可申上候 送料一鮮內二十四錢外五十錢
京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番
京城日報社代理部

●新綠に薰る三百の祝杯

▽新司法制度十年記念會
＝趣向を凝らした模擬裁判＝

氣味の惡い蒸暑さに雨催ひかと思はれた天候も朝鮮司法機關創設十年記念會當日はからつと晴れて

絕好の祝賀日和

會場なる朝鮮ホテルへは開會時刻前から三百數十名の來會者が集つてコンサートは人で埋まるの盛況であつた定刻合圖の奏樂と共に食堂に入り渡邊會長の挨拶山縣政務總監の謝辭があり醉漸の裡に食堂を撤して當寮華館の周圍に設へた園遊會場に流れ出した、四つの模擬店では京城の檢番連數十名が斡旋し餘興場には藝妓の手踊博多仁輪加等があつて

主客共に歡を盡

したが中にも花月藝者連の「廓の痴呆寶院」關事紀判の場と言ふ模擬裁判に至つては流石に主催者が御職掌柄だけに御念の入つたもので太郎が裁判長、嘉千代と若菊が陪席判事、秀奴が書記、國長が檢事、千代次が辯護士、福助が廷丁、おきんが配達夫何れも吹き出したいのを噛み耐へて著席に及ぶとお加代の朝鮮女格姓女とおその日本男色野助作と言ふ姦通罪の被告が引出され形の如く住所年齡の取調べ宜しくあつて審問に入り一應の取調を了へて閻長の

檢事が勿體ぶり

乍ら髭を捻つて論告しソコへおその配達夫が電報を持込む結局今日は祝賀會だからと言ので花もあり實もある裁きで即刻無罪放免と言ふ笑ひした筋書を黄色い聲で秋霜烈日にやつて除けようとしたのは益々滑稽本職の人達も腹を抱へ乍ら粹に碎けた名裁判だと罪もなく笑ひさざめいて居た、餘興が終つたのは午後五時祝賀會は頗る

盛會裡に散會した

が當日は設備萬般頗る行屆いて居たので來會者は何れも大滿足を表して居た

◇盛んなりし新司法十年記念會　朝鮮ホテル（上は食堂の光景、下は模擬裁判）

●鑛務署事件 廿六名有罪
豫審決定發表

福岡鑛務署事件は十八日豫審終結前署長野田勇外廿六名は瀆職、文書僞造行使、賄賂罪として有罪に決定一名のみ免訴となれり（福岡電報）

●仲買人調查
堂島全體に就き

寺尾農商務省書記官十八日も堂島取引所仲買人全體に就き五百石以上の賣買立て及び或客先の氏名住所職業等をも調査せり（大阪特電）

●夫の後を慕うて
位牌を懷にし彼の世へ

大連西公園町三十四番地居住原籍愛媛縣溫泉郡川上村元滿鐵工場準備係員田中階妻はじめ（二七）は去る十二日病死したる夫階の後を慕ひ十六日夜夫の位牌を懷にし石炭酸を多量に服用して死せり（大連特電）

●共同購買發議
京龍商店大打擊

龍山滿鐵京城管理局にては先頃より一部職員間に物品共同購買の發議あり一株五圓宛とし千株を募り之れを資金として比較的物價の安値なる地方より取り寄せんといふ目論見の由にて實現の曉には京龍の商店には大打擊となるべく恐慌を來し居れる向きもありと

◇廿一萬圓を燒く
＝十錢二十錢の小額手形を朝鮮銀行で＝

朝鮮銀行で本月上旬來回收に努めてゐる小額仕拂手形の古いが二十一萬圓もたまつたので十八日正午の手續きにより之れを銷却したが何しろ十錢廿錢五十錢の手形廿一萬圓と云ふのだから大變な數で午後の五時頃まで銀行の高い煙突から白い煙りが上つてゐた

●遊興の金がないとて 一人情死
＝死に損ね妻へ引渡さる

龍山彌生遊廓村井の家事戶田政治方の二階座敷にて十六日午後九時半頃馴染娼妓と

▽無理情死
を企てたる男あり、急報に依り龍山憲兵分隊より憲兵が祭儀出張檢視の結果此の男は岡崎町居住の雜商池田兵藏（二五）と言ひ三月以來同樓の抱娼妓吉事永島はる（二六）の許に通ひ詰め其の結果家には妻子ありて金廻りも思ふ樣にならざるより遂に悲觀し情死を企てたるものにて同日午後一時頃例の通り登樓し歌吉を敵娼として

▽自暴酒を
强か呷りたる後歌吉に對して情死の道連れになれと迫り其の方法としては短刀も劇藥も用意し來れりと誘ひかけしも歌吉は京城に質子もあり元より應ずる心なくて撥ねつけし上一時居室を立去りたる其の際兵藏は携へ來れる少量の稀鹽酸を仰ぎて片割情死を企て苦悶中を歌吉が發見して大騷ぎとなり兵藏の匿し持ちたる

▽短刀を奪
ひ取りたる上樓主等が應急手當を加へしかば生命には多分別條なかるべく兵藏は憲兵より嚴しく油を搾り上げたる上同人妻あいを呼び出して引渡せり

●朝鮮海峽飛行
川上中尉の計畫

飛行中尉川上親隆氏は朝鮮海峽橫斷飛行の計畫を立て目下同地方關企中なるが其上にて朝鮮海峽次に門司大連間、大連奉天間飛行の筈也（大阪特電）

●碁客關五段來る
東京の老碁客五段關源吉氏は十七日入京明治町小川旅館に投宿したり

●髮結組合總會
京城內地人女髮結組合創立第一回總會を南山本願寺にて十七日午前開會せしが出席者九十餘名あり種々協議の上午後は一同相携へて山遊びをなせり

●背水畫伯展覽會
背水畫伯の展覽會は豫報の如く十八日午後三時より銀行集會所に開催された門下作品及び參考品を合して約百點油繪は何れも濃厚な春色より新綠の初夏にかけての景趣を選べり作は「春雨の後」「羅南より」「牡丹」等にて小品中の作品十數點「上州の春」には殊に出作多く「信州の春」「秋の谿」「長谷寺附近」「春の路」などは場中の異彩である門人作品中にも美しく見るべきものが多い、高木夫人の小品など相當の出來である、參考室には他に見られ難き諸大家修業時代の作品約四十點あり中にも英人レナルド、ヒル畫伯の氣品の高い作品や伊太利ミケランゼロの描ける[illegible]ヴァチカン宮殿天井畫の一部を模寫せるもの、佛國畫家の[illegible]、英人ジエームスクラインの作[illegible]の素描[illegible]珍らしいもので斯道の人にとつて參考になるものばかりである同氏筆の金剛山探勝の作[illegible]殆んど[illegible]のやうで[illegible]は廿日迄開催の筈である（した生）

●富貴の花佳賓に笑みて
▽仁政殿の牡丹の宴
◇李王殿下軍服の御姿凛々しく◇
◇諸員と共に花間を逍遙せらる◇
食堂の內春の氣漂ふ

李王同妃兩殿下には既記の如く十八日仁政殿に於て牡丹の宴及び茶話會を催されたり牡丹の宴は午後零時三十分より御開催の豫定なりしも個々司法新制度十年

◆記念會の 催しあり參列者中差支るものもあらんとの思召により特に時間を繰上げ正午より開催せられたり是より先正午前となるや李堈公殿下、山縣政務總監を首めこの日御招待に與かりたる文武高官朝鮮貴族等は或は自動車或は馬車を驅ねて陸續參集す之と相前後して李王殿下はカーキ色の軍服に大勳位略綬を佩れ颯爽たる

◆御英姿に 宣政殿に成らせられ御招待諸員を一々接見せられたる後食堂に御臨場諸員起立敬禮の裡を御席に著かれたり時に正午、嚠喨たる奏樂の音と共に宴は直ちに開かれ王殿下には李堈公殿下、山縣總監を御對手に四方八方の御物語りあり歡美を盡したる食堂は洋々たる

◆春の氣漂 ひたるが宴は約一時間にして終り王殿下には直ちに諸員と共に殿外に歩を移させられ牡丹を御觀覽遊ばさる數百株の牡丹は今や滿開の眞つ盛り、宛ら龍宮の如き殿堂を背景として紫紅純白、淡紅と色取り／＼に艶なる笑を漏らすところ恰かも媚びるが如く得も言はれぬ美觀なり、殿下は諸員と共に稍々

◆暫時花間 を御逍遙遊ばされ御用の寫眞師をして此光景をレンズに收めしめられし後御退場遊ばされたり茶話會は豫定の如く午後三時より御開催李堈公妃殿下山縣政務總監夫人を首め內鮮上流婦人約百名參列各々充分の歡を盡して午後四時半各々退殿したるが是より先李王殿下は

◆朝鮮服に 御召し更への上再び宣政殿に成らせられ妃殿下と共に各婦人を接見相成りたり

東京大相撲
六日目（東京支局特電）

勝		負
國ケ岩	押倒し	石ノ川
荒石	足取り	今出川
八重高	出し投げ	日州山
和州山	突出し	王山
浪泉	叩き込み	若ノ島
龍ケ峰	打棄り	太刀嵐
白岩	押切り	時ッ風
大岬	突き出し	鶴ケ留
鶴渡	吊出し	紀ノ川
大ノ里	手繰出し	敷島
福柳	浴せ倒し	大戶平
清瀨川	浴せ倒し	大ノ高
達ノ矢	叩き込み	紅葉川
岩木山	寄切り	錦島
石山	押切り	駒泉
三杉磯	寄出し	逆鉾
對馬洋	泳れ込み	彌高山
釋迦嶽	寄倒し	大鳴門
千葉崎	寄切り	一港
栃木山	押倒し	大潮
△中入後		
御西山	突き落し	鬼鹿毛
綾川	突放し	土州山
宇都宮	打棄り	矢筈山
琴ケ浦	寄切り	八甲山
宮城山	ひねり	明
常ノ花	掛反れ	藤ノ川
黒瀨川	上手投げ	源氏山
朝潮	極め出し	一港

▲右の內敷島に大の里は烈しく突き合ひ入り亂れて敷大ノ里の左足を取り逆り出さんとするを大の

▲七日目取組
宇都宮（大ノ高　御西山（大ノ里
鬼鹿毛（翠ケ浦　土州山（矢筈山
綾川（八甲山　大門岩
敷島（大戶平　彌高山
常の花（源氏山△駒泉△
大潮（彌高山△朝潮△
栃木山△黒瀨川△
中入後
逆鉾　明石山（釋迦嶽　岩木山（清瀨川　福柳
三杉磯　一港（對馬洋　大鳴門（藤ノ川
達ノ矢△錦島△宮城山△千葉ケ崎

夏場所幕內星取表
（○勝●負ヤ休×分▲預）

東方　西方

[illegible]

▲大潮に栃木山（三面より續く）
當日呼物の好取組にて名乘り揚るや滿場[illegible]▲兜鹿毛に御西山 は左四ツにて[illegible]御西寄進み鬼の殘すを突き落して勝▲七州山に綾川 は七州の懷ろに[illegible]手を引いて明例の呆擲に行かんとする出ハナを逆に捻つて宮城の勝[illegible]出し朝の勝にて六時五十五分打ち[illegible]發して敵の左手を取るや逃身に手は繰り出して勝▲大戶平に福柳 は待ツた仕切り直すこと數回漸くにして立ち上るや福柳素早く右を差すを大戶勝手悪しと突き除け左四ツに左るや大戶頭引の下手投げを打たんとするところを外掛けに浴びせ倒して福の勝は呼呆▲清瀨川に大の高 は左四ツ大の上手褌を引かんとするを外掛けに浴せ倒して清瀨の勝▲錦島に岩木山 岩木張手を用ひて突きかけ錦のタヂログところを右を差して寄り進めば錦土俵際に小手投を打ちしも已に踏切りて岩木の勝▲紅葉川に逆[illegible] は烈しく突き合ひ逆[illegible]背落しを試みしが利かず紅葉の叩き込んで烈しく突き合ふ內叩き込んで殘つて紅葉の勝▲石山に駒泉 は石双筈に構へて猛進して押すを駒叩きしが利かず却つて浮足立つをそのまゝ押切り石の勝▲三杉磯に逆鉾 は烈しく突き合ひ二本差して寄り倒して三杉の勝▲彌高山に對馬洋 は彌高飛び込んで左を差し右手に前褌を引いて寄るを對馬殘して後ろ向きに捻れ込む際彌高打棄りしも土俵を割つてのちど對馬の勝▲大鳴門に釋迦嶽 は釋迦素早く二本差となり鋭く寄り進むを外掛に防ぎ或は上手を引き吊つて殘さんとしたるが釋迦勢ひ込んで寄り倒して勝▲千葉ケ崎に一湊 は右四ツ千葉ズル／＼と寄り進み湊が土俵際に腰を落して打棄やらんとするを輕々と抱いて持ち出し千葉の勝（以下欄外に續く）

[illegible]もの[illegible]を始め[illegible]られたるを無念に思ひ刺身庖丁を[illegible]

英國にて工夫　郵船平野丸は十八日神戸に歸着し[illegible]

[illegible]合格者九名其氏名左の如し▲全部合格者 名倉義二、朴基禎、徐熙淳[illegible]

[illegible]醫府醫院內に於て合格證書授與式を擧行[illegible]しと

[illegible]洋協會、朝鮮銀行、京城實業俱樂部及び朝鮮公論俱樂部の七チームなる由

胃腸良藥
ホシ胃腸藥

消化不良……の時
ホシ胃腸藥
消化を助け胃を強む

食慾不進……の時
ホシ胃腸藥
障害を除き食慾增進

惡醉宿醉……の時
ホシ胃腸藥
醉を消し心身爽快

溜飲惡心……の時
ホシ胃腸藥
胸開き氣分快活

胃腸カタル……の時
ホシ胃腸藥
痛を治し下痢を止む

定價　廿錢　五十錢　一圓

東京市京橋區南傳馬町三丁目
星製藥株式會社
電話京橋一七九五
振替東京二〇五二二

花吹雪 (三十五)

大阪 中谷青霞

倘然として暗愁を帯びたる面に然かも偸期する處ある如き樣にて正面の褥に坐しなるは主じの用附頼母、對形の組燭おぼろに殿んで夜もいたく更けたる際。

『夜陰のお召、何事かと清兵衛痛入致しましたなれど別儀もなう、祝著に厶りまする。』

と御前に平伏したは鬼と呼ばれた清兵衛である。

『清兵衛、近う寄れ。』

『は、殿樣には未だお寝られませぬは…。』

と清兵衛、主の面を見守り乍ら、

少し座を進める。

『それでは話がならぬわ、苦しうない近う參れ。』

『は、なれど餘りに…。』

『苦しうない、密々申し聞けたい儀があるのぢや。』

『は、なれば御無禮申しまする。』

清兵衛は近々と御前に進む。

『清兵衛。』

『は。』

と面を擡げたが、頼母は暝目して憫恨の狀、何事か云はんとして云ひ得ざる體。

『清兵衛……。』

『何事のござりまする。』

『はッ。』

『永の暇を遣すぞ。』

『はヽッ。』

とばかり、清兵衛は主の面を熟つと見上げたが、答ふべき言葉もない。

『突然の儀、お事もさぞ驚きもしやらう、なれど清兵衛、可う聞きやれ、此程隅田堤に狼藉の黒白装裹、もとより理不盡の云懸りとは云へ、見苦しい恥辱のうけて、よも壮儀には捨置くまじき横紙破りの建部讃十郎、何事か折衝からうけから、必定と、疾くより覺悟の致した折から、今宵圖らず書狀到來、さてこそ横車の難題御參なれ、如何やうの儀ともあれ、武道の意地、梧突いて一泡吹かせ一喝の下に高慢の鼻柱挫いて見せうと、披見すれば案に相違の茶事の招待、汝も同伴と、に書き添へたるは、愈々以て謀略の潜む曲事と、熟々も考ふれば、建部讃十郎は當時出頭の利け者、權威双ぶ者もなき役儀ハ威勢、身は八千石の小身の旗本、役儀とても閑職の尾張拍柝らす身の不肖、互に武道の意地を張つて、確執ともならば、家にもかゝはる一大事、よし初終の折衝きに勝つてからが家の瑕瑾、不祥の事出來せば祖先に對し何と申開かう言葉もなし。こゝは事穩便に納むるには如かじと招きに任せ、今宵建部が邸へ參りし處、果せるかな汝を所望の無理難題、否とあれば隅田堤の紛紜狼藉者の穿鑿、兄弟如何やうの儀仕出來さうとも計られず、事なら邸へ遣さるればお家に無事に萬代不易、何事も家のため當家が家の臣ともならば如何やうの儀ともあれ、其所には仔細もおはさぬ道理と、外聞事に傚らへての無理所望、汝を遣さずに何の仔細もなきやうなれど、遣せば手討にするか詰腹か、何れ組上の魚となる身、暗々犧牲には遣すに忍ばれず、とは云へ否とあつては兩家の確執をも惹起さん勢ひ、手詰めとなつて詮方盡き、本意ならねども一期の瀬戸際、汝には氷の暇、遣したれば今は早我家の家臣ならず、何れとも御存分のお處置と云切つて立歸つた頼母が心中、清兵衛推量して呉りやれ、事に臨んで今更突き出すやうなる永の暇、武道の意地と云ひ裏心忍びぬ儀なれども、家名には代へられぬと覺悟した頼母が心底、清兵衛可う推量して呉りやれ。』

日報歌壇

夏の夜　潮二生

君が小み手にとりあげてかなしみぬこゝはおすらん

まりに騒がしきかな

刈にやつれし姿夢に見るとのたまふ人に贈る

悲しみの時さなつけん柔土にわが蒔く種子のさきかせなば

晩春譜　秋村生

つれなくの思ひわびたし外の面のさくらさびしく春の雨ふる

感興の君がもさよりたより來む日頃の日のさみだれの音

ひよこらは今し眠れり麦棵にさつき雨ふる畑の深みに

牡丹　あづさ

いとも艶き牡丹の香り流れくる朝はよろしも初夏にして

この朝ひさに道るさて牡丹切る鋏の音もなつかしきかな

日報俳壇 (新題)

試驗田を打つ制服の生徒哉	香仙
紺質の支那人が來て長閑に詣	同
早魚田に夏近き風が渡る哉	同
紙雛に輕き子供や丘の畫	同
鳥籠に棘き日脚や春淺き	同
春季雜詠	
春風に今日も迎はし千俵哉	要村
巣鳥啼く樹に繋がれて犢哉	同
鳥の巣や日傘茶屋の一ツ松	同
搗き干せる麥の莚に落花哉	同
鳥の巣に高く溜れる夕日哉	同
鳥の巣や眞晝の雨に獨り居り	同
春風に鳩が飛び居る御城哉	同
灯影暗き此一村や猫の戀	味川
柩守る蠟淚悲し春の雨	同
覚落つる水閑さよ梅の中	同
結願の空大晴れて啼く雲雀	同
茶摘唄春の間の渡舟哉	同
桃咲くや硝子が光る駐在所	同
渡船場の獨る汀や春の風	待宵
沖荒れに燕は軒に默り居る	同
山巓に鳥泉の旗や春の風	同
勤酒歌澄む春の夜の酒樓哉	同
雞藍既に灯し運ねぬ春の宵	同
連峰の襞彩るや春の雪	孤雁
永き日を互材挽き居る木挽哉	同
挿終へし夕日照る苗圃哉	同
晒けき染場に絹の光り哉	同
朧夜や何に驚く鷄舎の鷄	友
灯點して牛の爪剪る朧哉	同
朧夜の河岸に並べる素甕哉	同
鳩け籠に啼き靜まりて庭朧	同
春の日を忙しき電車大路哉	逸
木蓮の花に紅解く遊房哉	同
春の夜の更けし巷や遠蛙	同

讀者の領分

[illegible]る者に就き行はれます。即ち本年度は明治四十一年、同四十四年、大正三年、同六年の徴集の未教育補充兵のみ點呼を行はれますが、明治四十年適齡は同年身體檢查を受けたれば明治四十年徵集ですから本年度點呼は行はれません、但[illegible]になりませんから本年度點呼を受けねばなりません(朝鮮駐箚軍司令部)▲愛島家へ知らして京城の小鳥屋を探す可く私も苦心しました結果次の樣な調査をしました小鳥の繁殖なのは明治町に一軒若草町に一軒何れも上品でなる者は概本町に一軒あるが鳥の數は少く値段が主で價格が何れも他より非常に高い此の外に若草町の次の町にある朝鮮人の居あるこれも下等だけ(愛鳥狂)▲黄金町の名は誠に上品にて盛な町の樣であるが其實際は古い屋町で要る古物屋町と改名するが却て解り易き程である、二三丁目を調査したら古道具屋が二十九軒古着屋古洋服屋が二十四軒古金物屋が十軒合計六十三軒其内地人の店なり)當局が苦心して市區改正しても道路丈けが文明で店舗は不愉快なる一山百文の陳列的の品許りの陳列にて歐米人には誠に赤面する又た京城中心の發展を害する事も甚だしい如斯商店は裏町に移轉せしめ大に黄金町の面目を改正して欲しいものである(黄金町住人)▲外へ日々運搬する府營の塵埃運びは夜中にして欲しい夏向は蠅が澤山で困る(迷惑生)▲十日夜南山町江口料理店にて二人の男が一人の債權者に對し難題を持掛けて大いに散財をさしたらしかつた二人は無頼漢や相當の債權者の名は知れなかつたが相當身分ある人物らしかつた辨當と云ふ者は皆あんな者許りか知ら(親見生)

新刊紹介 (到着順)

▲人情倶樂部(一の三) 河内山と直侍の出合ひ(西玉後着東錦繪) 鬱憂俠客樂奇坊(東京清水の次郎長) 伯龍 人情噺安田善兵衛 西川派話情話 [illegible] 他見物 [illegible] 八幡總德 屋橋 康光寺 [illegible] 其他 [illegible] 二十錢、東京 [illegible]

▲刀劍と歷史(五月號) 二十錢 [illegible] 七同發行所)

▲臺灣教育(一九一) 二十錢 [illegible] 臺灣教育會

▲うづら(創刊號) 鶉を專門に研究したる雜誌なり(十六錢、東京神田 [illegible] 共社)

▲トモダチ(四の六) 美しき給本にて [illegible] ちやん鯛ちやんの良き御友達なり(十三錢、東京麴町區富士見町 [illegible] 叢社)

▲少女(六月號) 原色版ォフセット版等の口繪多く記事としては [illegible] 今日の [illegible] 龍田乙姫の花籠、世界最大の [illegible] (十八錢、東京 [illegible] の一二時事新報社)

▲面白倶樂部(六月號) 大倉桃郞 [illegible] 城中に宣五十嵐物語の生みの母、長谷川時雨 [illegible] 武田仰天子の相馬大作 [illegible] 十五錢、東京市本郷區駒込坂下町四八講談社)

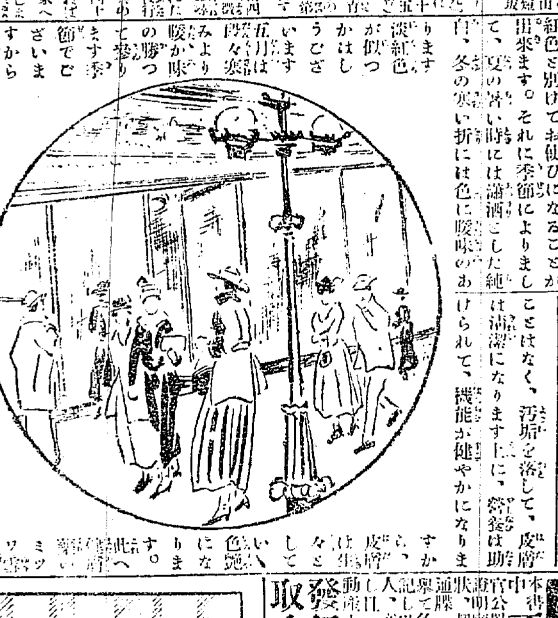
▲飛行少年(六月號) [illegible] 加藤中將の [illegible] 十錢 [illegible] 東京 [illegible]

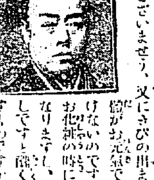
季節と白粉の色 (ミツワ文庫七五)

純白と淡紅色の間に幾十種 季節にふさはしき色を選ぶ

中村福助談

此は洋行しましたお方にお伺ひしました譯でございますが、巴里の化粧品屋では、顔の色が肉眼では見分けのつかない程細かに區別された見本が、幾十種となく函に入つて並べられてあつたさうです。お客樣の御婦人方も中々眼なり趣味なりが發達して居りまして、その中から自分の氣に入つた色の白粉を選んでお求めになつていらつしやると云ふことでございます。此から見ますと、日本の白粉は未だ〳〵と思はれます。でも普通に純白色と淡紅色とがございますから、晝は純白、夜は淡紅色と別けてお使ひになることが出來ます。それに季節によりまして、夏の暑い時には瀟洒とした純白、冬の寒い折には色に暖味のある淡紅色が似つかはしうございます。五月は段々寒みより暖か味の勝つて參ります季節でございますから、何方かと云へば純白色の方が宜しうございませう。でもお顔の色の青く見える方は先づ此の淡紅白粉をお用ゐになつた方が宜しうございます。その上巴里の御婦人方が幾十種の中から御自分の御顔色に似合ふ白粉をお選びになると同じ様に、日本の御婦人方も此の淡紅色と純白色とをうまく塗り合せて、全體を純白粉であげて頬なり、目の縁なりをほんのりと淡紅色でぼかすと云ふ加減も出來ますことでございますが、さて、それが、巧にほんのり●●●とぼかされて見える様にしますには、お化粧の下地になります地膚を整へて白粉ののり●●●ののびをよくして置かなければなりません。それには毎日の入浴、毎朝の洗面に必ず皮膚の營養を助けるミツワ石鹸を使ひますに限ります。此のミツワ石鹸を使ひますと、皮膚を刺戟して荒す樣なことはなく、汚垢を落して、皮膚は清潔になります上に、營養は助けられて、機能が健やかになりますから、皮膚は生々として [illegible] 白粉のなじみをよくしますから、お化粧振が至つて美しく出來る様になります。





▲中村梅玉曰く 此からの暖かさはお若い方にはさびて [illegible] 方が多いことでございませう [illegible]

▲發賣元 東京橋町 丸見屋商店

家庭治療法 醫學士 小山田 [illegible] 編 四六版 二百頁

本書は日常罹り易き疾病の原因、症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に數へ、醫師に相談するまでの親切な相手となるものである。定價金五拾錢。但其半額(郵券代用不苦)を添へ御申込あれば一冊送呈す。東京日本橋區橘町丸見屋商店(振替東京七二〇番)

眼科專門 京城若草町 (電話 [illegible]) 金井眼科醫院 (電話二五五六) 新築落成 入院隨意 日曜祭日午前中

ツバメ齒磨
永久に家庭の愛用品たるツバメ齒磨
常用せらるゝ三大理由
■化學的に齒を強く美白ならしむ。
■純良無比の高貴原料を使用す。
■芳香清洌防腐殺菌力強大なり。
大阪 東京 丹平商會發賣

朝鮮不動產登記商業登記申請書式 早川保次君編 改定增補第四版 定價一圓 郵稅八錢
朝鮮總督府裁判所書記
不動產登記の部 商業登記の部
發行所 京城本町一丁目 大阪屋號
取次所 京城本町二丁目 京城日報代理部 日韓書房 巖松堂

水の滴るような美つくしい綠の黒髪はみな本品を御使用遊ばされるによる艶々しく毛髪の爲めに最も優ぐれて良き御髪油
東京堺町 本舖 井善
あさひ油
支店 大阪南久寶寺町四丁目 藤森源之助 電話南一八七八番

百円進呈
りん病 ばいい毒 (藥合請)
帝國醫科大學病院にて分析料百圓
にせ物
大阪有田
發賣元 京城南大門外 ドラッグ商會本部
支店 京城黄金町三丁目 [illegible]

花柳病外科專門
梅毒、淋病、泌尿生殖器病、婦人病、肛門病、皮膚病、神經衰弱、ヒステリー
京城南大門通農工銀行裏
司生堂醫院 電話三〇六五番 (909)

大阪商船株式會社汽船出帆廣告
仁川出帆
神戶、大阪行 [illegible]
▲在京城 大阪商船株式會社代理店 電話二〇八番

朝鮮郵船出帆
[illegible]

共同汽船仁川出帆
大連直行 共同丸 五月廿一日午後入港
代理店 仁川 [illegible] 商會

尼崎汽船仁川出帆
神戶 [illegible] 丸 五月十八日 後四時出帆
君代丸 五月廿 [illegible] 後四時出帆
吉代丸 五月廿四日 後四時出帆
有丸 五月廿一日 後四時出帆

日本郵船仁川出帆
大連行 天津行 相模丸 五月二十日
三河丸 六月九日
高砂丸 五月三十日